

令和 7 年度実施分
協働事業・市民活動助成事業 報告書

～目次～			協働事業	市民活動助成事業	
ページ	事業名	団体名、事業担当課名		スタート 助成	ステップ アップ 助成
p1	幸谷関さんの森昔のくらし館設置及び冊子発行事業	関さんの森エコミュージアム			○
p9	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業	小金原みんなでわくわくする会			○
p17	まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業	まつど地域活躍塾つながりの会 政策推進課 SDGs推進担当室	○		
p27	手作りおもちゃカフェ事業	子育て+プラスゆとりにつこり		○	
p35	子育て中の方が手芸を楽しむ事業	Handicraft circle bijou ハンディクラフト サークル ビジュー		○	
p45	みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム みどりと花の課	○		
p57	矢切地区における子どもの遊び場創設事業	あそびパーク やきりの		○	
p65	みんなで創る未来の都市農業 コミュニティ農園 事業	まつど市民の会		○	
p75	松戸の歴史的文化遺産の復元・活用研究事業	松戸の地理・歴史探訪調査会		○	

令和7年度実施分 協働事業・市民活動助成事業一覧

●協働事業

No.	区分	事業名・団体名・担当課	予算額		決算額		ページ
			総事業費	負担金申請額	総事業費	負担金確定額	
1	2年目	みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業 エディブルウェイプロジェクトチーム みどりと花の課	¥464,300	¥377,300	¥477,318	¥377,300	P45
2	3年目	まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業 まつど地域活躍塾つながりの会 政策推進課 SDGs推進担当室	¥95,070	¥85,563	¥98,170	¥85,563	P17

■スタート助成

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	新規	子育て中の方が手芸を楽しむ事業 Handicraft circle bijou ハンディクラフト サークル ビジュー	¥127,600	¥100,000	¥120,649	¥100,000	P35
2	新規	手作りおもちゃカフェ事業 子育て＋プラスゆとりにつこり	¥143,120	¥100,000	¥143,664	¥100,000	P27
3	新規	矢切地区における子どもの遊び場創設事業 あそびパーク やきりの	¥187,000	¥100,000	¥168,460	¥100,000	P57
4	新規	みんなで創る未来の都市農業 コミュニティ農園 事業 まつど市民の会	¥159,700	¥100,000	¥40,033	¥17,333	P65
5	新規	松戸の歴史的文化遺産の復元・活用研究事業 松戸の地理・歴史探訪調査会	¥378,000	¥100,000	¥284,654	¥73,731	P75

■ステップアップ助成

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	1年目	幸谷関さんの森昔のくらし館設置及び冊子発行事業 関さんの森エコミュージアム	¥453,000	¥300,000	¥362,462	¥300,000	P1
2	2年目	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業 小金原みんなでわくわくする会	¥337,590	¥278,631	¥227,106	¥199,590	P9

幸谷関さんの森昔のくらし館設置及び冊子発行事業

関さんの森エコミュージアム

活動状況報告書

1 事業名称 幸谷関さんの森昔のくらし館設置及び冊子発行事業

2 実施主体

■団体名： 関さんの森エコミュージアム

従事者数： 28名

団体概要： 関さんの森全体を、自然・歴史・文化を学ぶ「野外博物館」ととらえ、2008年に設立した任意団体。関さんの森を育む会と連携しながら、関家に残る門や蔵の調査や保存、蔵に保存された生活用品や古文書に関する調査や保存、そしてこれらの利用・活用に関する事業をおこなっている。

3 事業の実施内容（事業計画書の事業内容に書かれた事業毎に分けて記載）

(1) 事業内容

①「昔のくらし館」設置にあたり、博物館運営の専門家をアドバイザーとして招き、所蔵する生活用品や古文書等の展示や公開のあり方を検討し、展示コンセプトを決定する。

日 付	作 業 内 容
5月18日～7月19日	専門家アドバイザー（講師）の人選・事前交渉
7月21日	専門家を関家屋敷に招いて関家の蔵を案内し、講師を依頼した。 参加者6名
8月3日～30日	第1回学習会の準備（講師との調整、会場確保、資料準備等）
8月31日	第1回学習会実施 新松戸市民活動支援コーナー 講師ほか参加者24名
9月7日～11月1日	第1回学習会を受けての課題を確認
11月2日～29日	第2回学習会の準備（講師との調整、実施内容協議、資料準備等）
11月30日	第2回学習会実施 関家屋敷 講師ほか参加者17名
1月18日～2月15日	展示コンセプト案の作成
2月15日	展示コンセプト「幸谷関さんの森昔のくらし館管理・運営基本方針」及び「昔のくらし館展示要領」を決定

② 江戸時代から続く3つの蔵（雑蔵、新蔵、脇な蔵）と門を、適切に修繕・保存する。

※雑蔵は南側の大きな部屋（主室）と北側の小さな部屋の2室があります。「味噌蔵」は北側の一室を指します。3つの蔵は、建造順では雑蔵、新蔵、脇な蔵です。

日 付	作 業 内 容
4 月 20 日～9 月 21 日	3 蔵（雑蔵、新蔵、脇な蔵）の漆喰壁点検および補修
5 月 18 日	脇な蔵の床を補強
8 月 17 日	脇な蔵の屋根に絡んでいるフジを剪定
12 月 21 日	雑蔵入口に自然木の手すりを設置
1 月 18 日	安全通路の確保（スロープ設置、段差解消等）
2 月 15 日	味噌蔵（雑蔵北側の一室）入口にステップを設置
3 月 1 日	雑蔵入り口に設置する「昔のくらし館」の木製看板を製作

③ 蔵に保存されている生活用品等を 1 点ごとに調べ、保存台帳を完成させる。

日 付	作 業 内 容
4 月 20 日～12 月 21 日	雑蔵と新蔵の補遺調査
4 月 20 日～6 月 15 日	脇な蔵物品調査前の整理
2 月 17 日	雑蔵と新蔵の保存台帳完成（脇な蔵の調査は未実施）

④ 「関さんの蔵通信」100 号分の内容を整理し、幸谷村民の生活、領主とのかかわり、災害への対応、村の事件など 10 章にまとめた冊子を発行する。

日 付	作 業 内 容
4 月 12 日～11 月 10 日	「関さんの蔵通信 100 号誌編集委員会」による編集作業を、プリントした原稿を使い対面で 7 回、オンラインで 7 回実施。
4 月 9 日、7 月 25 日	出版会社 2 社から冊子印刷費の見積もりを取る。
8 月 9 日	編集委員会で冊子の名称と表紙のデザイン、はじめにとあとがき、冊子の全体構成などを決定する。
10 月 28 日	月刊新松戸編集室と出版内容について最終打ち合わせを行う。
10 月 29 日	印刷会社の担当者を招いて出版について打ち合わせを行う。
10 月 25 日～11 月 5 日	編集委員以外の方に校正を依頼。発行日と奥付を決定。
11 月 13 日	原稿を印刷会社に持参して印刷を発注
11 月 14 日	完成原稿を印刷会社に最終入稿
11 月 27 日	冊子完成（助成対象分 400 冊、自己資金分 600 冊納品）
12 月 4 日～1 月 22 日	松戸市役所関係部署・市内の教育機関・図書館等に献本

⑤ 蔵の保存物品・古文書などの資料の、「昔のくらし館」での展示や公開にあたり、展示用パネルや解説リーフレットを作成する。また、開館イベント開催を広く市民に宣伝するために、チラシ・ポスター・配布資料を作成する。

日 付	作 業 内 容
-----	---------

6月15日～3月15日	「昔くらし館」の開館準備作業(展示物品の検討・移動・配置および物品解説用の「ネーム」の作成等)
7月22日	市事業紹介パネル展用の原稿を作成・市民自治課に提出
10月31日	事業紹介用のチラシを作成・印刷
11月2日	新松戸フリマにて事業を紹介
12月13日～3月27日	展示用パネル作成・開館イベント用資料作成
1月25日～3月7日	開館イベント・マスコミや地域情報誌等に広報掲載依頼
2月6日～2月25日	開館イベント用のチラシ・ポスター作製
2月15日	古文書展示用の額を作製
2月24日	市の施設への配架依頼(開館イベント用のチラシ・ポスター)
3月15日	広報まつど掲載
3月26日	開館イベント用資料 (A4版12頁小冊子)納品
3月27日	開館イベント用資料 (関家の庭マップ) 印刷

- ⑥「昔のくらし館」を開館し、市民を対象に開館記念のイベントを開催する。イベントでは、蔵通信をまとめた冊子を配布する。

日 付	作 業 内 容
1月15日～3月28日	「昔のくらし館」開館記念イベントの企画検討
3月28日	「昔のくらし館」開館記念イベント準備
3月29日	「昔のくらし館」開館記念イベント実施 来場者 271 名 冊子配布 201 冊

(2)事業内容のふりかえり

- ①「昔のくらし館」設置にあたり、博物館運営の専門家をアドバイザーとして招き、所蔵する生活用品や古文書等の展示や公開のあり方を検討し、展示コンセプトを決定する。
→専門家アドバイザーの人選に手間取り、当初5月・10月を予定していた開催時期は7月・11月に遅れたが、関さんの森の事業に関心を持っておられた専門家を2度招き、その都度会員も20名ほど出席して学習会を実施することができた。その結果、所蔵品の保存、展示に関する知識を高めることができ、展示コンセプト「幸谷関さんの森 昔のくらし館管理・運営基本方針」及び「昔のくらし館展示要領」を決定するなど、今後の昔のくらし館の運営に関わる大きな成果が得られた。
- ②江戸時代から続く3つの蔵と門を、適切に修繕・保存する。
→経年劣化した蔵の漆喰壁の補修を中心に、適切に修繕・保存できている。
- ③蔵に保存されている生活用品等を1点ごとに調べ、保存台帳を完成させる。
→雑蔵と新蔵の生活用品等の補遺調査を12月までおこない、2つの蔵の保存台帳は完成

- した。脇な蔵は、本調査前の整理をはじめたところで中断し、調査は未実施である。
- ④「関さんの蔵通信」100号分の内容を整理し、幸谷村民の生活、領主とのかかわり、災害への対応、村の事件など10章にまとめた冊子を発行する。
- 当初8月の発行を目指したが、挿入写真の精度を上げ、校正作業を念入りにおこなった結果、3ヵ月遅れて11月に冊子「関家の古文書をよむー関さんの蔵通信100号誌ー」は完成した。
- なお、助成事業では当初発行部数を300冊としていたが、400冊への変更を申請し、認められた。変更の理由は、編集作業の過程で予想以上に価値のある本ができる見込みとなり、より多くの市民や歴史・文化・教育関係団体に冊子を提供したいと考えたからである。
- ⑤蔵の保存物品・古文書などの資料の、「昔のくらし館」での展示や公開にあたり、展示用パネルや解説リーフレットを作成する。また、開館イベント開催を広く市民に宣伝するために、チラシ・ポスター・配布資料を作成する。
- 展示用パネルと古文書展示用の額、宣伝用のチラシ・ポスターは予定通り作成した。
- 解説リーフレットは、掲載したい内容が多いので、小冊子(A4版12頁)として編集・作成することとし、配付資料として開館イベントで配布した。なお、古文書展示用の額については、品質の良いものとするため、委託事業で実施した。
- また、「昔のくらし館」の開館にあたり、展示物品と展示方法を見直した。展示物品については、駕籠の展示を検討したが、移動が困難なため、当初予算にはなかったが、A1版のポスターとして駕籠の写真を印刷し、「ハレパネ」に貼って展示した。展示方法では、展示物品の名称や説明文を「ネーム」として、これも当初予算に無かった「ハレパネ」を購入し、A4～A5版にカットした「ハレパネ」に貼って掲示した。
- ⑥「昔のくらし館」を開館し、市民を対象に開館記念のイベントを開催する。イベントでは、蔵通信をまとめた冊子を配布する。
- 開館記念のイベントは、3月29日に実施。当初200名の来場を想定したが、当日は271名が来場。事業で作成した冊子(1冊/1家族)は201冊配布した。資料(A4版12頁小冊子と関家の庭マップ)は261部配布した。

4 事業成果について（事業計画書の事業の目標に書かれた項目毎に分けて記載）

・目標の達成と課題の解決について

- ①蔵に保存されている生活用品等の調査及び台帳への記載を完了する。
- 雑蔵と新蔵の生活用品等の台帳への記載は完了した。
- ただし、名称や用途がわからない生活用品があり、今後も調査を継続し、台帳の修正をおこなう。また、生活用品の保存や展示については、本事業で策定した「幸谷関さんの森昔のくらし館管理・運営基本方針」にしたがって、今後も適切におこなう。
- 脇な蔵についての調査は、次年度以降におこなう。

- ②「蔵通信 100 号」をまとめた冊子を発行し、開館記念イベント等で提供する。
- 目標どおり、A5 版 192 頁の冊子を発行し、開館記念イベント等で提供することができた。冊子については、当初 300 部印刷するとしたものを 400 部に変更し、献本先（下記）を増やすなど、より多くの市民に提供することができた。
- 松戸市立博物館、松戸市立戸定歴史館、図書館、松戸市内の教育関係、市内大学、松戸市役所関係部署、歴史関係団体など
- ③「昔のくらし館」を開館し、市民に公開する。
- 2019 年に雑蔵を改装して生活用品の展示をはじめたが、今回の事業で「展示コンセプト」を定め、より充実した「昔のくらし館」として開館することができた。当面は、月 1 回の限定公開となるが、学校や団体等の要望には可能な限り対応したい。
- ④ 開館記念イベントを、市民 200 人を招いて開催する。
- 開館記念のイベントは、3 月 29 日に実施。当初 200 名の来場を想定したが、当日は 271 名が来場。事業で作成した冊子(1 冊/1 家族)は 201 冊配布し、資料(A4 版 12 頁小冊子と関家の庭マップ)は 261 部配布した。特に力を入れた雑蔵内の展示や、古文書の野外展示には、多くの来場者が熱心に見ていた。
- 以上①～④により、本事業の目標である、2023 年に策定された「松戸市文化財保存活用地域計画」の『市民の「ふるさと松戸」への愛着と誇りを醸成し、地域固有の歴史的・文化的な資産を次世代へ引き継ぐこと』について、貢献をすることができた。

5 今後の事業展開

関家の 3 つの蔵に残る生活用品の調査、未実施の脇な蔵については次年度以降に実施する。台帳に記載した物品について、名称や用途がわからないものについては、今後も調べて、台帳の修正をおこなう。一方、古文書を含む生活用品の保存や展示については、本事業で策定した「関さんの森幸谷昔のくらし館管理・運営基本方針」にしたがって、今後も適切におこなう。

「昔のくらし館」の展示については、本事業で策定した「昔のくらし館展示要領」にしたがって、たとえば定期的に展示物を差し替えるなど、再来者を増やす努力を続けたい。

「昔のくらし館」は、当面は月に 1 回の限定公開だが、学校や団体の要望に応じて、臨時に公開・案内する。将来的には、全面的な公開を目指したい。

古文書については、調査・保存や読み解く作業は今後も継続し、「月刊新松戸」への連載も継続する。成果の蓄積がさらに進んだ時点で、「追加版」等の発行を検討したい。

関さんの森エコミュージアムは、関家に残る江戸時代に建てられた門と蔵、蔵に保存されている古文書や昔の生活用品等を、地域の貴重な歴史・文化資産として次代に引き継いでいく。また、「幸谷関さんの森昔のくらし館」を地域の歴史や昔の暮らしなどの体験や学びの場として、今後も市民の皆さんに提供していく。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 53,000	¥ 10,262	¥ 42,738	事業費の一部を団体会計より拠出
	昔のくらし館オープン事業参加料	¥ 40,000	¥ 52,200	¥ 0	イベント参加費 200円×261人
	100号記念有償配布収入	¥ 60,000	¥ 0	¥ 60,000	
				¥ 0	
	自己資金の合計（Ａ）	¥ 153,000	¥ 62,462	¥ 90,538	
市	市民活動助成金（Ｂ）	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
合計額（Ｃ）＝（Ａ＋Ｂ）		¥ 453,000	¥ 362,462	¥ 90,538	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ 0	外部講師謝礼 30,000円×2回
	消耗品費	¥ 18,350	¥ 22,152	¥ ▲3,802	プリンタインク 3,960円 コピー用紙 410円 アクリル板 2枚 8,316円 ハレパネ A2版10枚 8,470円 クラフト紙 A4版50枚 534円 物品台帳用A4ファイル 462円
	印刷製本費	¥ 66,900	¥ 69,311	¥ ▲2,411	チラシ印刷（事業紹介・開館イベント等） 1,647円 開館イベントポスター印刷費 550円 開館イベントチラシ印刷費（1,500部） 5,164円 駕籠の写真ポスター印刷 2,121円 ネーム印刷費 679円 物品台帳印刷費 1,115円 展示用パネル印刷費 5,400円 開館イベント配布小冊子印刷費（2,000部） 43,477円 開館イベント配布資料費 3,500円 開館イベント準備検討資料等印刷費5回 5,658円
		¥ 165,000	¥ 179,379	¥ ▲14,379	100号記念誌作成資料検討コピー代 9,979円 100号記念誌印刷代 400冊 169,400円
	通信運搬費	¥ 5,150	¥ 4,420	¥ 730	スマートレター15枚＋4枚×210円 計3,990円 レターバックライト 1枚×430円 計 430円
	委託料	¥ 21,600	¥ 21,600	¥ 0	展示用パネル作成費2枚 12,600円 木製額製作費2枚 9,000円
	保険料	¥ 6,000	¥ 5,600	¥ 400	昔のくらし館開館イベント保険 社協ボランティア行事保険 加入期間 3月29日 28円×200人
				¥ 0	
	対象経費の合計（Ｄ）	¥ 343,000	¥ 362,462	¥ ▲19,462	
（その他経費）	印刷製本費	¥ 110,000	¥ 0	¥ 110,000	
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額（Ｅ）	¥ 110,000	¥ 0	¥ 110,000	
合計額（Ｆ）＝（Ｄ＋Ｅ）		¥ 453,000	¥ 362,462	¥ 90,538	

【チェック項目】

- 助成金（Ｂ）が、対象となる経費（Ｄ）欄の90％以内であること。
- 自己資金（Ａ）欄が、「対象経費（Ｄ）欄の10％以上」であること。
- 助成金（Ｂ）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 10,262	事業の一部を団体会計より拠出
	昔のくらし館オープン記念参加費	¥ 52,200	イベント参加費 200円×261名
	自己資金の合計額	¥ 62,462	
市	市民活動助成金	¥ 300,000	
合 計 額		¥ 362,462	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	外部講師謝礼 30,000円×2回
	消耗品	¥ 22,152	プリンタインク 3,960円 コピー用紙 410円 アクリル板 2枚 5,038円、3,278円 ハレバネ A2版10枚 8,470円 クラフト紙 A4版50枚 534円 物品台帳用A4ファイル 462円
	印刷製本費①	¥ 69,311	チラシ印刷（事業紹介のチラシ/開館イベントのチラシ）4回 計1,647円 ※ 11/6の600円と11/28の285円は、新松戸フリマとブックフェスに使用した、事業紹介のチラシ。 12/12の362円は、冊子の献本先に添付した、おもに事業紹介のチラシ。 2/12の400円は、開館イベントのチラシで、早期に必要としたチラシ。 開館イベントポスター印刷費 2/16 250円、2/24 300円 計550円 開館イベントチラシ印刷費（1,500部） 5,164円 駕籠の写真ポスター印刷費 2,121円 ネーム印刷費 679円 物品台帳印刷費 1,115円 展示用パネル印刷費2枚 5,400円 開館イベント配布小冊子印刷費（2,000部） 43,477円 開館イベント配布資料費（350部） 3,500円 開館イベント準備検討資料等印刷費 5回 計5,658円 （384円、390円、2,882円、440円、1,562円）
	印刷製本費②	¥ 179,379	100号記念誌作成原案資料（検討・編集・校正用）コピー代7回分 258円+405円+1,800円+2,910円+1,500円+1,306円+1,800円=9,979円 蔵通信100号記念誌「関家の古文書をよむ」印刷代 400部 169,400円
	通信運搬費	¥ 4,420	スマートレター 210円×19枚=3,990円 レターパックライト 430円×1枚=430円 12/1は、スマートレターのみ3,150円 1/16はスマートレターとレターパックライトで1,270円
	委託料	¥ 21,600	展示用パネル作成費2枚 12,600円 木製額製作費2枚 9,000円
	保険料	¥ 5,600	関さんの森昔のくらし館開館イベント保険 3月29日 28円×200人 社会福祉協議会行事保険加入
	対象経費の合計	¥ 362,462	
その他経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
合 計 額		¥ 362,462	

四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業

小金原みんなでわくわくする会

活動状況報告書

1 事業名称 四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業

2 実施主体

■団体名： 小金原みんなでわくわくする会

従事者数： 10名

団体概要： 本会は、次に掲げる活動を行うことにより、地域における身近な課題を住民の意思に基づき自主的に解決し、もって良好な地域社会の維持及び地域の発展に資することを目的とする。

1) 四世代全員参加の地域活動を通した「ありがとう！」の街づくり

2) 現在の地域活動を SDGs 観点から整理、推進すること

3) 地域の SWOT（強み弱み）分析から、活動テーマを抽出し、具体的活動を立案、実行する。

3 事業の実施内容（事業計画書の事業内容に書かれた事業毎に分けて記載）

(1) 事業内容

1) テーマ1 花き栽培と落ち葉の堆肥活用化

日 付	作 業 内 容
5 月 13 日	松戸市草花配布申請：220 本
5 月 18 日	①花き栽培（第 13 回 SDGs 活動会）9 名参加、年度計画作成及び公園南西コーナー・しだれ桜周り花壇雑草取り SDGs 活動の PR チラシ回覧配布 300 部
5 月 25 日	②コンポスト 6 名参加、米ぬか追加・EM 菌散布攪拌
6 月 13 日	草花配布引取り 130 本 2 名
6 月 15 日	公園南西コーナー・しだれ桜周り花壇に草花植付け 16 名参加 耕作とコンポスト堆肥の混合
7 月 13 日	・第 14 回 SDGs 活動会（市より 2 名参観）10 名参加 花の水やり、コンポスト進捗 ・公園南西コーナー・しだれ桜周り花壇草取り、水やり、コンポスト攪拌 8 名参加①②
9 月 21 日	③コンポストたい肥化状況（現場調査）第 15 回 SDGs 活動会 8 名参加 不要樹木の伐裁申請、水やり、コンポスト攪拌 (9/1 活動会開催回覧板 45 部)
10 月 19 日	公園落葉集めとコンポスト攪拌 22 名参加
11 月 4 日	公園内花壇追加設置：南側及び西側の許可を取得
11 月 16 日	公園落葉集めとコンポスト攪拌 17 名参加
12 月 5 日	草花配布引取り 220 本 2 名
12 月 7 日	南西コーナー・しだれ桜周り花壇と新設花壇（南・西側）の耕作、コンポスト堆肥による花

	植え及び落葉集め 12 名参加
1 月 18 日	落葉集め、コンポスト攪拌 20 名参加
2 月 15 日	落葉集め、コンポスト攪拌 24 名参加
3 月 13 日	草花配布引取り 220 本 2 名
3 月 15 日	既設の南西コーナー・しだれ桜花壇及び、南・西新花壇に堆肥混合し、花植えと垣根設置 15 名参加

2) テーマ 2 町民講座の開設 (子供会含む)

日 付	作 業 内 容
5 月 18 日	第 1 回町民講座 9 名参加 落ち葉堆肥の作り方
6 月 16 日	わくわく子供会準備打合せ 4 名 (町会共同企画)
6 月 30 日	第 1 回わくわく子供会ポスター配布 500 部、町会掲示板に掲示
7 月 13 日	第 1 回わくわく子供会準備打ち合わせ 10 名参加
7 月 20 日	第 1 回わくわく子供会準備打合せ 9 名参加
7 月 29 日	第 1 回わくわく子供会 29 名 (内子供 10 名) 参加 クッキー・白玉作りと松戸歴史かるた取り
8 月 1 日	第 2 回わくわく子供会ポスター配布 500 部、町会掲示板に掲示
8 月 24 日	第 2 回わくわく子供会 30 名 (内子供 10 名) 参加 餅作りとおはぎ、小豆および紙芝居
11 月 16 日	第 2 回町民講座 7 名参加 お墓の話と墓じまいについて (11/3 町民講座開催回覧板 45 部)
2 月 15 日	第 3 回町民講座 7 名参加 エンディングノート、子供の頃の夢と今の夢 (2/2 町民講座開催回覧板 45 部)

3) 第 3 回四世代交流会 ①BBQ、紙芝居・遊戯

②餅つき大会

日 付	作 業 内 容
8 月 24 日	四世代わくわく BBQ 大会準備打合せ (1 回目) 10 名参加 演奏、BBQ 以外に子供紙芝居、輪投げ計画 チラシ配布・掲示 450 部
10 月 26 日	四世代わくわく BBQ 大会は、大雨で中止
12 月 26 日	四世代わくわく餅つき大会準備 (2 回目) チラシ配布・掲示 450 部
1 月 24 日	四世代わくわく餅つき大会準備打合せ (3 回目) 14 名参加
1 月 25 日	四世代わくわく餅つき大会 約 100 名 (内子供 18 名) 参加 演奏、子供餅つき、紙芝居

4) 第 16 回 SDG s 活動会 (12 月)

日 付	作 業 内 容
11 月 16 日	第 16 回 SDGs 活動会 8 名参加 4 年間の活動総括と来年度計画

(2) 事業内容のふりかえり

テーマ 1

1) 花き栽培と落ち葉の堆肥活用化

- ・コンポスト設置については、予算書に費用を計上したが、建設費が安くなるという理由で令和6年度中（事業実施前）に設置を完了し、コンポストに公園内の落ち葉を投入してある状態で令和7年度の事業を開始した。そのため、決算額についてはコンポスト設置費用を計上せず、消耗品費は▲40千円となった。
- ・たい肥は、南西コーナー及びしだれ桜周り花壇の花植えに活用をした。西・南側の花壇を増設したため、たい肥は余ることなく使用した。
- ・コンポストの落葉堆肥を活用して公園内に市から支給の花苗を植えることにより、公園の雰囲気明るくなった。
- ・花は植える時は皆でやれるが、日々の水やり等花のメインテが予想以上に大変であることが判明した。

テーマ 2

2) 町民講座（子供会含む）

- ・高齢者向けと子供向けの講座をあわせて計5回開催した。子供の参画活性化のため、夏休みにクッキングを中心としたわくわく子供会（子供行事）を行ったところ、大変好評で子供たちの要望により2回開催した。自分で作ったものを自分で食べて、笑顔あふれ親子の触れ合いとなり素晴らしい行事であった。
- ・町民講座は、3回開催し、相続・墓問題だけでなく、心のケアも含めた展開として、来年度も進めていく。当初、第3回に成年後見制度の講座を計画したが、第2回の墓じまいの回で行ったエンディングノートの内容についての質問が多かったため、エンディングノートの追加講座を行った。
- ・計画では第1回は花の育て方講座であったが、その前段階として、落葉堆肥の作り方講座を実施した。
- ・第14回SDGs活動会は、計画ではエンディングノート勉強会を想定していたが、たい肥の進捗具合確認のために花の栽培・コンポストをメインとした。
- ・小金原の歴史については、人選をしており、今年度実施に至らなかった。

3) 第3回四世代交流会

- ・名称を「四世代わくわく会」とした。
- ・当初、バーベキュー(BBQ)の開催を企画したが、当日、大雨で中止となった。
- ・四世代わくわく餅つき大会は、1月に開催し、沢山の子供達も集まり、好評であった。
- ・他町会代表者および高校生の聴講は有ったが、事前案内が十分でなく、小金原地区全体に浸透させることはできなかった。

4) 第16回SDGs活動会（12月）；活動総括と来年度事業継続可否について

- ・本年度は、初めてのコンポストの落葉堆肥が完成し、追加花壇含め花の栽培に活用できた。
- ・来年度も引続き団体拠出金等を活用して、町民講座含め事業継続することを決定した。

4 事業成果について（事業計画書の事業の目標に書かれた項目毎に分けて記載）

- ・目標の達成と課題の解決について

項目	活動計画	実践内容	課題解決案	成果
----	------	------	-------	----

1. 活動2テーマ及び、四世代交流会の事前周知。掲示板・回覧板に掲載する	・事前周知の徹底;行事により三丁目町会を中心とした全戸及び各地区班長へ配布、また、町内掲示板に掲示	・わくわく子供会、四世代わくわく BBQ, 餅つき大会: 全戸チラシ 450 部、及び掲示板に掲示し、出欠の事前確認 ・SDGs 定例会、町民講座、草取り・花植え、コンポスト攪拌: 班長 45 部配布	・魅力あるポスターの事前配布	事前に全戸ちらし配布した。講座等は回覧板にて掲示をした。
2. 第 13～16 回 SDGs 活動会 4 回開催、延べ 60 名参加	定例 SDGs 活動会 4 回開催	・4 年間に渡り、年 4 回の定例会を継続	定例会議時間を短縮して、公園での実践活動時間を確保する	活動会 4 回開催 参加者延べ 35 名
3. 第 1～4 回町民講座 4 回開催、延べ 60 名参加	高齢者向: 3 回 子供会: 2 回 実施	・町民講座 3 回: 落葉堆肥の作り方、お墓の話、エンディングノート、 ・わくわく子供会 2 回: 子供クッキングスクール	・話題提供講話者の確保 ・子供行事の事前周知	・町民講座 3 回開催 参加者延べ 23 名 ・子供会 2 回開催 参加者延べ 59 名 (内子供 20 名)
4. 第 3 回四世代交流会 参加者 100 名以上 小中学生の演奏参加	BBQ、演奏、紙芝居	・四世代 BBQ 交流会は雨天のため中止 ・四世代交流餅つき大会を実施 ・準備 3 回開催	来年度も 2 大会を計画する	餅つき大会 約 100 名参加 (内子供 18 名)
5. 野外活動 (随時 4 回/年、延べ 30 名) やまばと公園花壇継続及び東側花壇設置とコンポスト維持管理	・市から年 3 回支給の花苗の花壇栽培 ・落葉集めとコンポスト堆肥の作製	・花壇の水やり、雑草取りとコンポスト落ち葉堆肥による花苗の入替え栽培継続 ・コンポストの定期的攪拌と米ぬか、EM 菌の混合 ・落葉の回収: 使い捨てビニール→落葉回収袋使用	・花壇の水やり、落葉集めは当番制・定例化する ・東側花壇: 幼稚園との打合せ進める	活動会 12 回開催 参加者延べ 146 名

5 今後の事業展開

SDGs の町民活動として、SWOT 分析による良い点、劣る点の模造紙を使った書き出しから始まって、活動テーマを抽出し 4 年間活動してきた。ご指導頂いた先生、活動のサポートいただいた松戸市市民自治課、公園緑地課の皆様には謝意を表します。

公園のコンポストによる落葉堆肥化、それを活用した花植えによる公園美化、及び、町民講座を通じた住民同士の交流には一定の成果があったと考えます。

来年度は、公園内東側花壇の幼稚園児との花植えを幼稚園との打ち合わせが終了次第実行する予定です。今後も、小金原地区全体の活動として更に継続展開していきたいと考えております。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 58,959	¥ 27,516	¥ 31,443	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計（A）	¥ 58,959	¥ 27,516	¥ 31,443	
市	市民活動助成金（B）	¥ 278,631	¥ 199,590	¥ 79,041	←精算額
合計額（C）＝（A＋B）		¥ 337,590	¥ 227,106	¥ 110,484	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 40,000	¥ 40,000	¥ 0	外部講師謝礼 10,000円×4回
	印刷製本費	¥ 19,300	¥ 8,520	¥ 10,780	活動PRチラシ 6,800円x400部 BBQチラシ 10円x500部 エンディングノート 220円x15部
	消耗品費	¥ 213,590	¥ 173,247	¥ 40,343	コピー用紙2500枚 2,133円 カラーインク2式 6,518円 ホース 2,178円 EM菌 2,995円 子供会食材費 3,994円 ガーデン用具、肥料 65,326円 落葉回収袋3 9,480円 鍋、杓子 8,874円 衛生キャップ、手袋 1,907円 花壇フェンス 27,939円 レンガ、モルタル 22,030円 レンガ（追加） 2,451円 あじさい苗木 10,000円 台車 5,500円 その他 1,922円
	対象経費の合計（D）	¥ 272,890	¥ 221,767	¥ 51,123	
（その他経費）	食糧費	¥ 28,000	¥ 5,339	¥ 22,661	子ども会飲料
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額（E）	¥ 28,000	¥ 5,339	¥ 22,661	
合計額（F）＝（D＋E）		¥ 300,890	¥ 227,106	¥ 73,784	

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が、対象となる経費（D）欄の90%以内であること。
- 2 自己資金（A）欄が、「対象経費（D）欄の10%以上」であること。
- 3 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 79,041
-----	----------

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 27,516	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 27,516	
市	市民活動助成金	¥ 199,590	
合 計 額		¥ 227,106	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 40,000	講師謝礼 10,000円×4回
	印刷製本費	¥ 8,520	わくわく会活動チラシ400部(ラクスル) 2,720 BBQチラシ(トーエー) 1,900 BBQチラシ(トーエー) 600 エンディングノート 3,300
	消耗品費	¥ 173,247	コピー用紙(アマゾン) 2,133 カラーインク(アマゾン) 1,881 カラーインク(ヤマダデンキ) 4,637 ホース(コーナン) 2,178 EM菌(健康館) 2,995 ファイル(ダイソー) 550 子供会食材費(リブレ京成) 3,994 ガーデン用具、肥料一式(コーナン) 32,292 耕運機ガソリン(出光) 294 ごみ回収袋3個(楽天) 9,480 両手鍋2(ビバホーム) 5,456 灯油缶(コーナン) 1,078 衛生キャップ、手袋(シモジマ) 1,907 杓子、ポンペ(アーケランズ) 3,418 肥料、花壇柵(コーナン) 14,361 肥料一式(セキチュー) 6,282 フェンス柵(セキチュー) 7,350 レーキ、ガーデン用具(セキチュー) 12,391 レンガ(ジョイフル本田) 17,421 花壇フェンス(ジョイフル本田) 13,439 モルタル、こて(ジョイフル本田) 4,609 花壇フェンス(ダイソー) 7,150 あじさい苗木(TON・TON) 10,000 レンガ(コーナン) 2,451 台車(ロイヤル) 5,500
	対象経費の合計	¥ 221,767	
その他経費	食糧費	¥ 5,339	お茶、ドリンク(リブレ京成) 5,339
	その他経費の合計	¥ 5,339	
合 計 額		¥ 227,106	

まつど de SDG s の輪を広げようプロジェクト事業

まつど地域活躍塾つながりの会

政策推進課 SDGs推進担当室

活動状況報告書

1 事業名称

まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業

2 実施主体

■団体名： まつど地域活躍塾つながりの会

従事者数： 6名

団体概要： 2017年に松戸市で開催された「まつど地域活躍塾」の修了生有志によって2019年に立ち上げられた団体は、活躍塾の目標を実現するために、修了生が地域での活動や貢献を支援し、地域の活性化に貢献することを目的としている。2019年4月からはSDGs推進チームのメンバーが中心となり、松戸市民にSDGsへの関心を深め、個々の行動につながる啓発活動も展開している。

■事業担当課： 松戸市 総合政策部 政策推進課 SDGs推進担当室

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

各事業の主催：企画立案、広報、応募者・参加者等との連絡・調整・取り纏め

■担当課の役割

各事業の側面支援：主催事業への助言・期日管理、広報支援（市HP、広報誌掲載）

4 事業の実施内容（事業計画の事業内容に書かれた事業毎に分けて記載）

（1）事業内容

①SDGs フェスティバル（まつり）

日付	作業内容
2025年 4月	松戸市SDGs推進担当室との事業全体打合せ、フェスティバル内容の検討
5月	プログラム構成の検討、役割分担の整理
6月	チラシ作成、広報準備（市HP・関係団体への周知依頼）
7月	一般参加者募集、備品・教材（クイズ、ワーク用資材等）準備
8月4日	SDGs フェスティバル実施（クイズラリー、ミニ講話、ワークショップ） （キテミテマツド9階 アートスポットまつど）
8月	実施後の簡易ふりかえり、参加状況の整理

②SDGs 地域学習会（第1回：松戸市消費生活展）

日 付	作 業 内 容
2025 年 6 月	消費生活展出展内容の検討、テーマ設定（食品ロスと SDGs）
7 月	パネル構成検討、既存教材・データ整理
8 月	パネル原稿作成、クイズラリー内容検討
9 月	パネル最終調整、印刷・備品準備、出展調整
10 月 4, 5 日	松戸市消費生活展にて地域学習会実施 （キテミテマツド9階 アートスポットまつど）
10 月	実施状況・来場者反応の整理

②SDGs 地域学習会（第2回：SDGs 映画祭）

日 付	作 業 内 容
2025 年 9 月	上映映画の選定、会場候補の検討
10 月	会場調整、上映権等の確認
11 月	チラシ作成、広報準備
12 月	一般参加者募集、展示物・対談内容の調整
2026 年 1 月	映画上映 『食べることは生きること～アリス・ウォータースのおいしい革命～』 （松戸市民劇場）
1 月	アンケート結果整理、ふりかえり

③松戸市の SDGs 関係者を集めた市民対話集会

日 付	作 業 内 容
2025 年 12 月	対話集会の目的・構成案検討
2026 年 1 月	松戸市 SDGs 推進担当室との内容調整
2 月	レジュメ作成、参加予定団体への案内
3 月 9 日	市民対話集会の開催 （松戸市勤労会館）
3 月	対話内容の整理、事業全体の総括

(2) 事業内容のふりかえり

●各事業の実施内容

①SDGs フェスティバル（まつり）

2025 年 8 月 4 日、キテミテマツド 9 階アートのスポットまつどにて、市民参加型 SDGs フェスティバル「まつど発 こどもとつくる！みんなの SDGs アートひろば」を開催。SDGs クイズラリー、ミニ講話、アートワークショップを実施し、こどもと保護者が楽しみながら SDGs に触れる機会を提供した。

②SDGs 地域学習会（第 1 回）

10 月 4 日・5 日、キテミテマツド 9 階アートのスポットまつどにて、第 49 回松戸市消費生活展に出展し、「身近な SDGs・食品ロス削減」をテーマとしたパネル展示およびクイズラリーを通じた地域学習会を実施。来場者に対し、食品ロスの現状と行動のポイントを分かりやすく伝えた。

②SDGs 地域学習会（第 2 回）

2026 年 1 月 29 日、松戸市民劇場にて、映画『食べることは生きること～アリス・ウォータースのおいしい革命～』の上映と対談を通じた SDGs 地域学習会を開催。映画鑑賞後の展示や対話を通じて、食と SDGs を生活実感と結びつけて学ぶ機会を提供した。

③松戸市の SDGs 関係者を集めた市民対話集会

3 月 9 日、松戸市勤労会館にて、市内の SDGs の取り組みに関わる関係者を対象とした「松戸市 SDGs みらいづくり対話集会」を開催。これまでの協働事業の振り返りを行うとともに、ワークショップ形式の対話を通じて、松戸市における今後の SDGs 普及啓発の方向性や課題について整理した。18 人の行政、企業、市民団体や教育関係者が参加した。

④ その他

- ・ 松戸市消費生活展の出展に際して作成した SDGs 関連パネルを教材として位置付け、フェスティバル、地域学習会、市民対話集会等の会場で展示し、市民への周知・理解促進に活用した。
- ・ 作成した SDGs 事例集は、イベント会場等で紹介するとともに、関心を持った来場者に提示し、地域の SDGs 取組の情報発信を行った。
- ・ 作成した SDGs 事例集については、松戸市の公式ウェブサイト「まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業」ページ等を活用し、令和 7 年 3 月より情報発信を行っている。

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/sdgs/tsunagarinokai.html>

★事業内容全体の振り返り

本事業では、「楽しさ」「生活実感」「対話」を重視した複数の手法を用いて、市民が SDGs を自分ごととして捉える機会を創出することができた。

SDGs フェスティバルでは、こどもたちの創造的表現を通じて SDGs への理解が深まり、地域学習会では、食品ロスや食の問題といった身近なテーマから行動意識を高めることができた。

一方で、イベント後の「次の一步（具体的行動）」につなげる仕組みや、ふりかえり・共有の時間をより充実させる必要性も課題として確認された。

なお、本事業では通信運搬費を計上していたが、資料等の多くを電子メール等のインターネットを通じて配信したほか、イベントや打合せ時に関係者へ直接手渡しする対応が多かったため、郵送等の費用が発生しなかった。

5 事業成果について（事業計画の事業の目標に書かれた項目毎に分けて記載）

・目標の達成と課題の解決について

① SDGs フェスティバル（まつり）

〔計画時の目標〕

市民 50 人以上の参加を得て、松戸市における SDGs 推進の理解促進と行動意識の醸成を図る。

〔実績〕

当日は、小学生および保護者あわせて約 30 名、スタッフ・関係者 12 名が参加した。計画時に想定していた参加人数（50 人以上）には届かなかったものの、親子参加型の小規模イベントとしては、対話や体験を重視した密度の高い学習機会を提供することができた。

〔主な成果〕

- ・ クイズラリーやアートワークショップを通じて、こどもたちが SDGs を「知識」ではなく「体験」として捉える様子が観察された。
- ・ 松戸市内の施設や自然を題材にしたクイズ構成により、「SDGs＝身近な地域のこと」という理解が促進された。
- ・ 参加者(子どもたち)からのコメント収集として、「松戸の SDGs ロゴの塗り絵と未来へのメッセージを書こう！」という参加型企画を実施した。参加した子どもたちには、SDGs ロゴの塗り絵とともに、SDGs に関して自分が取り組みたいことや未来へのメッセージを記入してもらい、回収したカードはボード（パネル）に掲示した。集まったコメントを整理したところ、「海を大切にしたい」「ごみをひろいたい」「電気を大切にする」など、日常生活に根ざした行動意識や未来への願いが多く見られ、参加者の理解や関心の状況を把握することができた。

② SDGs 地域学習会（第 1 回・第 2 回）

〔計画時の目標〕

第1回・第2回あわせて70人程度の参加を得て、SDGs への理解を深める。

〔実績〕

- ・ 第1回（松戸市消費生活展）：来場者数は2日間で約750名であり、そのうち多くの来場者が展示ブースに立ち寄った。
- ・ 第2回（映画上映）：参加者89名、スタッフ12名、市職員4名と、計画を大きく上回る参加があった。

〔主な成果〕

- ・ 第1回では、「食品ロス削減」という生活に直結したテーマを通じて、SDGs を自分ごととして捉える来場者の反応が確認された。特に子ども連れの来場者が、展示内容にうなずきながら説明を聞く姿が多く見られた。
- ・ 第2回では、上映後アンケートにおいて「新しい気づきを得た」「問題を自分ごととして考えるきっかけになった」と回答した参加者が多数を占め、「心に残るメッセージがあった」と回答した参加者は100%であった。
- ・ 映画という手法により、SDGs を理屈ではなく「感覚的・情緒的」に理解する機会を提供でき、展示コーナーでは参加者同士やスタッフとの対話も生まれた。

③ 松戸市の SDGs 関係者を集めた市民対話集会

〔計画時の目標〕

開催する市民対話集会に参加した団体・市民等から、今後、松戸市の市民社会の中で SDGs を推進していくための内容を取りまとめ、市の SDGs 推進担当室に提出する。

〔実績〕

これまでに実施した SDGs 関連の活動に参加・関与した団体、企業や SDGs ネットワーク関係者等を対象に、市民対話集会を開催した。

当日は、松戸市における SDGs 普及啓発の現状や、協働事業の成果・課題を共有したうえで、ワークショップ形式による対話を行った。

参加者は、各自が取り組んでいる SDGs 関連活動や、活動を通じて感じている課題、松戸市の強みや可能性について意見を出し合い、ポストイット等を用いて意見の可視化を図った。その後、グループ内および全体での共有を通じて、多様な立場からの視点や問題意識を整理した。

〔主な成果〕

- ・ 市民、団体、行政関係者が同じ場で対話することにより、松戸市における SDGs 普及啓発の現状と課題を多角的に把握することができた。
- ・ 一方的な意見集約ではなく、対話を重視した手法により、参加者自身が課題や可能性を再認識する機会となった。
- ・ 4つのグループで整理された内容を取りまとめ、SDGs 推進担当室に提出することができたことから、「市民対話集会の内容を取りまとめ、SDGs 推進担当室に提出する」という

目標は達成された。

- ・ 今後の松戸市における SDGs 普及啓発に向けた「次の一步」として有効な視点や論点が整理され、協働事業の総括として一定の成果を得ることができた。

④ その他

- ・ 松戸市消費生活展の出展に際して作成した SDGs 関連パネルを教材として位置付け、フェスティバル、地域学習会、市民対話集会等の会場で展示・活用したことにより、SDGs を身近な生活課題として理解するための視覚的な学習素材を提供することができた。
また、複数のイベントで継続的に活用することで、市民への SDGs の周知および理解促進につながった。
- ・ 作成した SDGs 事例集については、松戸市の公式ウェブサイト「まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業」ページ等を活用し、令和 7 年 3 月より情報発信を行っている。

★成果全体のまとめ

以上のとおり、本事業は、市民参加型・協働型の手法により、SDGs を「身近な生活課題」として捉える機会を複数の形で提供することができた。参加人数の面では事業ごとの差はあるものの、理解の深化や意識の変化がアンケートや観察結果から確認されており、事業計画で掲げた目標に概ね沿った成果が得られたと考えられる。

6 今後の事業展開

本協働事業では、これまでの取組を通じて、市民が SDGs を身近な生活や地域の課題として捉え、主体的に考え、対話するための基盤を一定程度築くことができた。

今後は、事業の中で得られた市民や団体の意見・気づきを整理し、松戸市と共有することで、相互に情報を参照し合いながら、地域における SDGs 普及啓発の取組が継続していくことを目指す。

また、体験型の学習や対話を重視した取組については、協働事業終了後も当会の自主的な活動として継続し、必要に応じて、市内で実施される SDGs 関連イベント等の情報交換や相互参加を通じて、連携を保っていく。さらに、市内の関係団体やネットワークとのつながりを活かし、それぞれの取組が孤立することなく、相互に刺激を受け合いながら SDGs の取組が広がっていく関係づくりを大切にしていく。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 248,292	¥ 260,392	¥ ▲12,100	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 9,507	¥ 12,607	¥ ▲3,100	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 9,507	¥ 12,607	¥ ▲3,100	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 85,563	¥ 85,563	¥ 0	←精算額
合計額 (D) = (B + C)		¥ 95,070	¥ 98,170	¥ ▲3,100	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 8,320	¥ 1,680	チラシ印刷代 3,960円×1回 4,360円×1回
	使用料及び賃借料	¥ 82,920	¥ 89,850	¥ ▲6,930	会場使用料 2,670円×1回 映画視聴費用 67,180円×1回 チラシデザイン費 10,000円×2種類
	通信運搬費	¥ 2,150	¥ 0	¥ 2,150	
	対象経費の合計 (E)	¥ 95,070	¥ 98,170	¥ ▲3,100	
(その他経費)		¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 95,070	¥ 98,170	¥ ▲3,100	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 12,607	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 12,607	
市	松戸市負担金	¥ 85,563	
合 計 額		¥ 98,170	

【支 出】

科 目		金 額	内訳・説明事項（用途など）
	印刷製本代	¥ 8,320	広報チラシの印刷代 ・SDGs フェスティバル用 3,960円（1,500部） ・SDGs 映画鑑賞会用 4,360円（400部）
	使用料及び賃借料	¥ 89,850	会場使用料 ・対話集会実施分 2,670円（勤労会館、5時間） 映画視聴費用 ・SDGs 映画鑑賞会用 67,180円（98名分） チラシデザイン費 ・SDGs 映画鑑賞会用 20,000円（10,000円×2種類）
	対象経費の合計	¥ 98,170	
そ の 他 経 費		¥ 0	
	その他経費の合計	¥ 0	
合 計 額		¥ 98,170	

労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×1076円
	①SDGsフェスティバル(まつり)打合せ	12,912 円	6 人 × 2 h × 1 回 × 1076 円
	フェスティバルの準備	6,456 円	6 人 × 1 h × 1 回 × 1076 円
	フェスティバルの実施	45,192 円	6 人 × 7 h × 1 回 × 1076 円
	フェスティバルの事後処理	2,152 円	2 人 × 1 h × 1 回 × 1076 円
	②SDGsの地域学習打合せ	12,912 円	6 人 × 1 h × 2 回 × 1076 円
	地域学習会の準備	12,912 円	6 人 × 1 h × 2 回 × 1076 円
	地域学習会の実施	103,296 円	6 人 × 8 h × 2 回 × 1076 円
	地域学習会の事後処理	4,304 円	2 人 × 1 h × 2 回 × 1076 円
	③松戸市のSDGs関係者を集めた市民対話集会打合せ	6,456 円	6 人 × 1 h × 1 回 × 1076 円
	市民対話集会の準備	6,456 円	6 人 × 1 h × 1 回 × 1076 円
	市民対話集会の実施	45,192 円	6 人 × 7 h × 1 回 × 1076 円
	市民対話集会の事後処理	2,152 円	2 人 × 1 h × 1 回 × 1076 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
合 計 (A)		260,392 円	

手作りおもちゃカフェ事業

子育て＋プラスゆとりにっこり

活動状況報告書

1 事業名称:手作りおもちゃカフェ事業

2 実施主体

■団 体 名：子育て＋プラスゆとりにっこり

従 事 者 数：17 名

団 体 概 要：松戸市内子育て支援団体等と協働して、高齢者がこれまで培ってきた得意の裁縫や工作スキルを発揮しながらオリジナリティ豊かな手づくりおもちゃを提案し、子どもと一緒に制作することで既成商品にない創作過程の面白さや多世代交流の楽しさを体験します。

3 事業の実施内容（事業計画書の事業内容に書かれた事業毎に分けて記載）

(1) 事業内容

①手づくりおもちゃカフェ開催

日 付	作 業 内 容
4 月 20 日	1 回目・多世代交流しながら「フェルトおにぎり（小）・靴下うさぎ」制作・試作品①「折りたたみ机」「輪投げ」制作及び活動評価検討会 ・手作りおもちゃカフェ（定例化）の検討
4 月 21 日	・チラシ作成（公共施設 24 箇所掲示）、新松戸地区のチラシ掲示
5 月 18 日	2 回目・手芸作家の講師招聘①回目 ・試作品②「ブローチ（ビーズ、刺繍付）」制作及び活動評価検討会
6 月 15 日	3 回目・多世代交流しながら「麻ひも人形・フェルトおもちゃ」制作 ・手作りおもちゃカフェ（定例）の活動評価検討会
7 月 20 日	4 回目・手芸作家の講師招聘②回目 ・試作品③「レジンの小物」制作、手作り体験及び活動評価検討会
9 月 21 日	5 回目・ゆとにこイベント 2025 開催による世代交流、「手づくり体験コーナー」麻ひも人形作り、レジン制作体験、割り箸ゴム鉄砲作り、輪投げ遊び、射的遊び、ネイル、ヨガ、足つぼマッサージ等 ・工作の講師招聘③回目、試作品④「割り箸ゴム鉄砲」制作及びイベント活動評価検討会
10 月 19 日	6 回目・試作品⑤「あみマグ（あみちゃんのマグネット）」制作 ・手作り品の検討及び活動評価検討会
11 月 16 日	7 回目・手作り品「編み物①」：多世代交流しながら試作品⑥「ハートストラップ」制作・手づくりおもちゃカフェ（定例）及び活動評価会議
12 月 21 日	8 回目・手作り品の制作「編み物②」多世代交流しながら「毛糸の小袋」「ハートストラップ」「麻ひも人形」制作・手作り体験及び活動評価検討会

1月18日	9回目・手作り品「編み物③」「毛糸の小袋」「ハートストラップ」制作、「編み図の見方」体験 ・ゆとにこイベント検討及び活動評価検討会
2月15日	10回目・ゆとにこイベント2026開催による世代交流、「手づくり体験コーナー」麻ひも人形、レジン制作、割り箸ゴム鉄砲、射的遊び、輪投げ遊び、ネイル、ヨガ、足つぼマッサージ等 ・イベントの活動評価検討会

②出張おもちゃカフェの開催

日 付	作 業 内 容
4月27日	1回目・新松戸チャリティーフリーマーケット（新松戸中央公園）子ども遊びコーナーに出展、輪投げ、玉転がし）遊びや麻ひも工作を一緒に実施
7月13日	2回目・流通経済大学海の日アートフェス2025参加、手作り体験（麻ひも人形作り）輪投げ、ネイル、ヨガ、アートな占い、手作り品販売等
8月5日・ 7日・26日	3回～5回目・集中開催（3回/子どもの夏休み）・夏休みは遊びの基地☆青少年会館へ！（NPO 法人子どもとまつど協働）に参加、手作り品「麻ひも人形作り」「輪投げの制作」
10月11日	6回目・樋野口子ども館フェスタ2025 雨天により館内開催、麻ひも人形制作
11月2日	7回目・新松戸チャリティーフリーマーケット（新松戸中央公園）子ども遊びコーナーに出展、麻ひも人形作り、輪投げ遊び、手作り品販売等
11月9日	8回目・流通経済大学であうアートフェス2025秋、アート（＝創造と表現）を通じて親子・大学の学生・教職員・地域住民と交流、手作り体験（麻ひも人形作り・輪投げの制作、ストーンアート）、ネイル、アートな占い等
3月21日	9回目・みらいフェスタ2026参加、たのしむコーナー出展：麻ひも人形制作・輪投げ遊び・射的遊び

②出張・おもちゃカフェ実施評価

日 付	作 業 内 容
3月15日	・手作りおもちゃカフェ開催月のアンケート調査実施
3月21日	・出張おもちゃカフェ開催アンケート調査実施、ヒアリング調査実施 ・集計及び検討 ・試作品の検討評価 ・出張おもちゃカフェ反省

(2)事業内容のふりかえり

事業計画の内容を全て実施し、概ね予定とおりのスケジュールで目標を達成しました。広報ではHPやチラシ（年間）掲示、地域新聞や広報誌に掲載して地域住民の参加増加に結びました。予算執行は事前の相談の上、消耗品他の適正な購入に結びました。

①手作りおもちゃカフェ

手作りおもちゃカフェを6月に追加し、また、ゆとにこイベント2025（9月・2月）の内で体験や遊びで一緒に楽しめるようコーナーを設定し、手作りおもちゃカフェを行う等、年間10回の開催により定例化を図り定着と拡大に結びました。手芸や工作活動により多世代交流の居場所として家庭的な雰囲気で交流し、子どもが制作したいという小さなニーズを尊重して慈しみ、一緒に「麻ひも人形」「段ボールの輪投げ」で遊び持ち帰りました。

外部講師については、既に活動実績のある「手芸作家」や、高齢者で地域自治体等で活躍している「割り箸ゴム鉄砲おじさん」を招聘して試作品の検討をしました。装飾品「ブローチ」「レジン制作体験」や工作「割りばし鉄砲作り」で作品の質の向上を図り、子どもの興味関心度を高め喜んでいました。広報では事業のチラシ制作、HP掲載に努めました。

②出張おもちゃカフェ

出張おもちゃカフェでは、他団体の企画・運営するイベントの開催に応じて6月・10月・3月開催計画のところ、4月・7月・8月（集中3回）・11月・3月に出走き計9回開催しました。イベントに出走き多くの子どもと直接に触れ合う機会が得られ、子どもは「苦手だけど楽しかった」「ぼくもこれしてみたかった」「一緒にできた」「子どもの方が上手みたい」「持ち帰り大切にしたい」「手芸が好きみたい」等々、子どもや親の反応からは短時間でも効果が認められるものでした。初めての手芸で子どもが側で見ることや、親子がともに楽しむ機会になり、孤立化や体験格差の解消に繋げて地域力を発揮する場を実感し、また既成商品にない創作過程の面白さや世代交流の楽しさの提供に結びました。

参加者アンケートでは会話による個別の聞き取り、また用紙の手渡し等を行いました。回収ボックス設置や状況に応じて負担のないよう配慮し実施しました。開催会場によっては、調査において個人情報収集しないことを徹底している場合があるため、調査項目を見直し、個人が特定されないよう改善しました。

印刷製本費の計上が無いことについて、周知用のチラシを業者に委託せずに、自団体で作成したため経費計上をしませんでした。

4 事業成果について（事業計画書の事業の目標に書かれた項目毎に分けて記載）

・目標の達成と課題の解決について

目標・開催回数8回以上

年開催回数は①手作りおもちゃカフェ10回開催にて目標達成しました。

目標・出張協働事業・協働団体2団体以上

②出張おもちゃカフェは4団体と協働、イベントに9回参加して目標を達成しました。協働団体からは「また一緒に取り組みたい」との感想をいただくなど、本事業に対して前向きな評価が寄せられました。

目標・子ども8名／回、高齢者延べ参加人数30名

①手作りおもちゃカフェ、②出張おもちゃカフェの合計 600 名以上の参加者により目標を達成し、活動範囲の拡大により通常のイベントでは手の行き届かない子どもへのアプローチに繋がったと考えています。

①手作りおもちゃカフェは子どもの延べ参加者数 40 人、平均 5 人／回であり、子どもの参加数の増加を期待します。高齢者の延べ参加人数 63 人と目標を達成しています。

②出張おもちゃカフェでの子どもの手作り体験や遊び体験者数 574 人。体験者数の他にも、家族複数人でブースに来ていただいたため、人数の把握ができませんでした。また、開催会場の都合によりアンケートに年齢に関する設問を設けない場合があり、その結果、来場者の年代把握が困難でした。

目標・高齢者による様々なオリジナルおもちゃ（裁縫、工作）の提案：

①手作りおもちゃカフェ ②出張おもちゃカフェ ともに高齢者による手作り品の試作検討等で新たに 6 作品以上「新麻ひも人形」「段ボールの折りたたみ机」「ブローチ」「レジン作品」「割り箸ゴム鉄砲」「イニシャルストップ」等を提案しました。定着化しつつある麻ひも人形など手作り体験や手作り品をまとめて購入頂くこともありました。

目標・子どもや高齢者の笑顔が見られる：

①手作りおもちゃカフェ ②出張おもちゃカフェ ともに一緒に制作した子どもと高齢者ともに笑顔がみられました。

目標・アンケート調査及びヒアリング調査：満足度評価（平均）3 以上／5 段階

②出張おもちゃカフェでは、満足度調査は平均 4（5 段階中）と好評で世代交流のできる居場所として楽しめていると評価します。アンケート調査の対象および方法を検討したい。

5 今後の事業展開

①手づくりおもちゃカフェ：新松戸を拠点とした作品制作の場、また新規作品のアイデアの検討の場、さらに多世代交流による楽しむ場として、参加者が増えるよう工夫を図り活動基盤を定着させたい。

②出張おもちゃカフェ：他団体の企画運営するイベント等に出張する内容や回数の充実を図り、高齢者による子育て支援活動の場を広めたい。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 9,520	¥ 4,964	¥ 4,556	事業費の一部を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 33,600	¥ 38,700	¥ ▲5,100	おもちゃカフェイベント参加費 26,650円 (全19回) ①おもちゃカフェ参加料 300円×28世帯 ②手作り人形体験料 100円×44人 ③輪投遊び体験料 50円×277人 手作り品販売収入 12,050円 (全56個) ①人形 5,800円 (29個) ②小物 6,250円 (27個)
	自己資金の合計 (A)	¥ 43,120	¥ 43,664	¥ ▲544	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 143,120	¥ 143,664	¥ ▲544	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 73,000	¥ 87,364	¥ ▲14,364	手芸品材料 28,947円 (28件) 事務用消耗品 46,774円 (27件) 工作用消耗品 11,643円 (15件)
	食糧費	¥ 25,500	¥ 17,334	¥ 8,166	おもちゃカフェ、イベント参加者用お茶菓子 (17件)
	印刷製本費	¥ 5,100	¥ 0	¥ 5,100	
	保険料	¥ 9,520	¥ 8,400	¥ 1,120	イベント行事用保険料 社会福祉協議会 28円×20人×15回
	報償費	¥ 9,000	¥ 9,000	¥ 0	講師招聘 3回×3,000円
	使用料及び賃借料	¥ 0	¥ 2,000	¥ ▲2,000	みらいフェスタ出展料及び机・椅子使用料
	対象経費の合計 (D)	¥ 122,120	¥ 124,098	¥ ▲1,978	
(その他経費)	通信運搬費	¥ 15,000	¥ 15,647	¥ ▲647	団体ホームページプロバイター使用料、ドメイン更新料 (年額)
	交通費	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000	
	会員食糧費	¥ 0	¥ 3,919	¥ ▲3,919	会員昼食費 全2回 (30人分) 1,911円 (118円×15人) / 2,008円 (124円×15人)
	その他経費の合計額 (E)	¥ 21,000	¥ 19,566	¥ 1,434	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 143,120	¥ 143,664	¥ ▲544	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 4,964	事業費の一部を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 38,700	おもちゃカフェイベント参加費 26,650円 (全19回) ①手作りおもちゃカフェ参加料 300円×28世帯=8,400円 ②手作り人形体験料 100円×44人=4,400円 ③輪投遊び体験料 50円×277人=13,850円 手作り品販売収入 12,050円 (全56個) ①人形 5,800円 (100円×5個=500円、200円×19個=3800円、300円×5個=1500円) ②小物 6,250円 (50円×1個=50円、100円×5個=500円、200円×6個=1200円、300円×15個=4500円)
	自己資金の合計額	¥ 43,664	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合 計 額		¥ 143,664	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 87,364	事業用消耗品 手芸品材料 28947円(28件 フェルト、クロス、麻紐、綿、ハギレなど) 事務用消耗品 46774円(27件 折りたたみ椅子、チラシ作成用インクおよび用紙、角印など) 工作用消耗品 11643円(15件 工具、絵の具、筆、イラストマーカーなど)
	食糧費	¥ 17,334	おもちゃカフェ、イベント参加者用お茶菓子(17件) 4月:2,785円(せんべい・クッキー・ゼリー)、5月:706円(クッキー・マシュマロ)、6月:1,916円(ドーナッツ・ゼリー・乳児用菓子)、7月:1,638円(せんべい・パイ・カルピスウォーター・りんごジュース)、9月:2,349円(せんべい・チョコ菓子・コーヒー・麦茶・りんごジュース)、10月:2,486円(せんべい・ワッフル・ドーナッツ・麦茶・コーヒー・ほうじ茶)、11月:1,729円(せんべい・ワッフル・ドーナッツ)、12月:2,136円(シュークリーム・エクレア)、2月:1,589円(ドーナッツ・麦茶・カルピスウォーター・コーヒー)
	保険料	¥ 8,400	イベント行事用保険料 社会福祉協議会 28円×20人×15回
	報償費	¥ 9,000	講師招聘に係る謝礼 講師名 松本氏 3000円×2回(5/18, 7/20) 講師名 池田氏 3000円×1回(9/21)
	使用料及び賃借料	¥ 2,000	みらいフェスタ(3/22)参加費用 出展料 1000円 机・椅子使用料 1000円
	対象経費の合計	¥ 124,098	
その他経費	通信運搬費	¥ 15,647	団体ホームページプロバイター使用料、ドメイン更新料(年額)
	交通費	¥ 0	
	会員食糧費	¥ 3,919	会員昼食用おにぎりの購入 9/21 1,911円(118円×15人)、2/15 2,008円(124円×15人)
	その他経費の合計	¥ 19,566	
合 計 額		¥ 143,664	

子育て中の方が手芸を楽しむ事業

Handicraft circle bijou

ハンディクラフト サークル ビジュー

活動状況報告書

1 事業名称 子育て中の方が手芸を楽しむ 事業

2 実施主体

■団 体 名： Handicraft circle bijou

ハンディクラフト サークル ビジュー

従 事 者 数： 4名

団 体 概 要： ものづくりを通して、子育て中の忙しい時間から少しだけ解放されて、育児をしている方の心の安定『自分のための夢中になれる時間』を提供する。

3 事業の実施内容（事業計画書の事業内容に書かれた事業毎に分けて記載）

(1) 事業内容

①制作会

日 付	作 業 内 容
4 月 5 日	制作会の内容決め会議
4 月 1 1 日	サポートセンターにて気分アンケートの相談
4 月 2 1 日	制作会 1 回目の試作回
4 月 2 2 日	制作会 1 回目の買い出し
4 月 2 3 日	市民自治課相談（一時保育について） 制作会 1 回目と消耗品の買い出し
4 月 3 0 日	工具と消耗品の買い出し 気分アンケートの制作
5 月 8 日	制作会 1 回目実施
5 月 2 2 日	チラシ作成と入金
5 月 2 3 日	事務用品と消耗品の買い出し
5 月 3 0 日	市役所にチラシ持ち込み配布手配
6 月 3 日	制作会 2 回目の買い出し
6 月 2 4 日	制作会 2 回目の試作会
7 月 3 日	制作会 2 回目実施
9 月 3 日	ミーティング・資材購入
9 月 1 0 日	制作会 3 回目実施
9 月 1 1 日	ミーティング・資材購入

9月18日	会計ミーティング・領収書の確認
10月20日	会計ミーティング・領収書の確認
11月10日	制作会4回目実施
12月22日	市役所にて領収書、事業計画についての相談
1月8日	ミーティング・資材購入
1月14日	制作会5回目実施

②他団体が主催するイベントにて子ども向けワークショップ（1回）

日 付	作 業 内 容
5月 8日	子ども向けワークショップ会議
5月 9日	子ども向けワークショップの資材買い出し
5月30日	子ども向けワークショップの試作回
6月14日	子ども向けワークショップ実施

③みんなの制作会

日 付	作 業 内 容
8月 5日	みんなの制作会のレイアウト確認・お菓子購入
8月20日	みんなの制作会実施

④ちいさな制作会

日 付	作 業 内 容
9月29日	ちいさな制作会試作会
10月9日	ちいさな制作会の食糧買い出し
10月10日	ミーティング・資材購入
10月14日	ちいさな制作会実施

(2)事業内容のふりかえり

①制作会（5回） 会場“明市民センター 第一会議室”

制作会 1 回目 『リボンレイ』

制作会 2 回目 『レジンの印鑑ケース or ピルケース、チャーム、アクアアートボトル』

制作会 3 回目 『つまみ細工のヘアゴム or ポニーフック』

制作会 4 回目 『レジンの耳飾り or マグネット』

制作会 5 回目 『スマホポシェット』

参加者の安全確保および作業スペースの確保のため、十分な広さのある第一会議室で実施しました。

当初は2時間以内で完結する内容として事業を計画していましたが、参加希望者の増加に伴い、制作時間や説明時間の確保が必要となる回もありました。

そのため、参加者一人ひとりが無理なく活動できるよう配慮し、必要に応じて3時間の会場利用をする会もありました。

制作会4回目のときは、流行性疾患の流行時期と重なってしまい、体調不良等を理由に参加を控える方がおり、参加人数が当初想定より少なくなりました。その際は、参加者の健康・安全に配慮しながら運営を行いました。

計画の変更点として、子育て中の方が無理なく手芸を楽しめる事業として、希望に応じて保育士による託児を利用できる体制を整えていましたが、結果として託児を希望する参加者はおらず、保育士は依頼しませんでした。託児を希望する参加者の募集にあたっては、Instagramやチラシでの周知に加え、オープンチャット上で託児の利用希望の有無を確認し、さらに代表の個人 LINE でも個別に対応可能である旨を案内するなど、利用しやすい環境づくりに努めました。しかしながら、いずれの回においても託児の利用希望はなく、保育士の配置は行いませんでした。 組紐は、参加者の都合で制作会でも取り扱わなかった為、購入しませんでした。

②他団体が主催するイベントにて子ども向けワークショップ（1回） 会場“北松戸会館”

あきらごみゼロくらぶさん主催のきたまつどみらい堂に参加させていただき、活動の周知を図ることができ、制作を通して、親子や参加者同士の自然な会話や交流が生まれ、ものづくりの楽しさを共有する機会となりました。

当日は、ワークショップ参加者全員に対し、当団体の活動内容の説明と「みんなの制作会」のチラシ配布を行い、今後の活動への関心喚起を図りました。

一方で、当日の参加者は近隣在住の方が中心であり、当団体が主に対象としている「育児中の方の居場所づくり」という事業趣旨とはやや異なる層が多い傾向が見られました。そのため、活動周知自体は実施できたものの、夏休みに実施する「みんなの制作会」への直接的な

参加促進という点では、十分な効果にはつながりにくい状況であったと考えられます。

■ レジンを使用したハーバリウムボールペン制作

日常的に使える実用品に創作の楽しさを取り入れることを目的に、レジン液を使用したハーバリウムボールペン制作を実施しました。

制作では、透明な軸のボールペンの中に、ドライフラワーや金箔、ラメなどの装飾素材をピンセットで配置し、専用のレジン液を流し入れる工程を体験してもらいました。

参加者は素材の色合いや配置バランスを考えながら作業を進め、それぞれの個性が表れたオリジナルデザインを制作されていました。

レジン液を使用することで、装飾素材が固定され、長く楽しめる実用品として完成度の高い作品となりました。細かなパーツを扱う工程は集中力を要する一方で、完成後は「自分だけのボールペンができた」という達成感が得られ、日常生活の中で制作体験を思い出せる作品となりました。

■ アクアアートボトル（センサリーボトル）制作

視覚的な癒しや感覚遊びを通じたリラックス効果を目的に、アクアアートボトル（センサリーボトル）制作を実施しました。

参加者は透明ボトルの中に、ビーズやスパンコール、ラメ、カラーセロファンなどの装飾素材を入れ、水（精製水）と洗濯のりを混ぜた液体を注ぎ入れて密閉しました。

ボトルを振ったり傾けたりすると中の素材がゆっくり動き、光の反射や色の混ざり方を楽しむ作品になります。

制作工程はシンプルで小さな子どもでも参加しやすく、親子で一緒に素材を選ぶ姿も見られました。完成後は「きれい」「ずっと見ていられる」といった声があり、落ち着いて過ごすためのアイテムとしても活用できることを伝えました。

③みんなの制作会（1回） 会場“明市民センター 第一会議室”

センサリーボトル、レジン制作、シャボン玉スティックなどの制作活動では、それぞれが工夫を凝らした作品が完成し、みんなで制作することの楽しさを実感できる場となりました。

子ども同士の関わりや、大人と子どもの対話も生まれ、夏休み期間中における気分転換や孤立感の軽減につながる機会を提供できたと考えています。

親子や友人同士、親戚同士など、これまでにない人数での参加となり、制作の進行上お待たせしてしまう場面もありましたが、参加者同士が協力し合いながら活動を進めることができました。

準備や片付けにも多くの方にご協力いただき、参加者同士の自然な交流が生まれる中で、無事にイベントを終了することができました。

想定を上回る参加があったことから、参加者の安全確保および活動環境の充実を目的とし

て、第二会議室も使用し対応しました。

④ちいさな制作会（1回） 会場“南花島会館”

未就園児を主な対象としたイベントとして手形アートの制作を実施し、親子で一緒に制作を楽しめる機会を提供しました。

当日は4か月から1歳前後の子どもが多く参加し、手形や足形の制作も比較的スムーズに行うことができ、多様で魅力的な作品が完成しました。

また、保護者が制作に集中できるよう、同室に保育士2名を配置し、子どもを見守る体制を整えましたが、年齢の低い未就園児が多かったこともあり、保護者が完全に子どもから離れて自分の時間を確保することには課題が残りました。

今後同様の事業を実施する際には、保育環境や部屋の使い方について再検討し、より参加しやすい体制づくりを行っていきたいと考えています。

消耗品費 +39千円となった理由として、参加者数の増加に伴い必要な消耗品が当初の想定より多くなったことに加え、物価高騰の影響により予算作成時点より単価が上昇していたため、消耗品費が増額となりました。

4 事業成果について（事業計画書の事業の目標に書かれた項目毎に分けて記載）

・目標の達成と課題の解決について

目標①制作会 達成感と気分評価のアンケートで、5段階評価にて実施前が低評価であり、実施後は高評価に向上することを目指す。1回あたりの人数10人、うちリピーターが5割以上。新規1割以上。

制作会では、達成感や気分の変化を把握するため、5段階評価によるアンケートを実施しました。その結果、いずれの回においても、実施前と比較して実施後は「楽しい・わくわくするものを感じる」「リラックスしている時間がある」「達成感を感じる時がある」といった肯定的項目の評価が向上しました。一方で、「つらいと感じる」「心配や不安がある」「無力感を感じる」といった否定的項目は、全体的に減少傾向が見られ、制作活動を通じた気分の改善や気分転換につながったと考えられます。

制作会1回目 『リボンレイ』

参加人数8名 新規1名

制作会2回目 『レジンの印鑑ケース or ピルケース、チャーム、アクアアートボトル』

参加人数5名 新規0名

制作会3回目 『つまみ細工のヘアゴム or ポニーフック』

参加人数8名 新規0名

制作会4回目 『レジンの耳飾り or マグネット』

参加人数4名 新規0名

制作会 5 回目 『スマホポシェット』

参加人数 10 名 新規 1 名

参加人数は 1 回あたり 4～10 名で推移し、少人数であった回においても、落ち着いた環境の中で制作に集中できたことが、気分評価の向上に寄与したと考えられます。

リピーターの参加が中心となり、目標である 5 割以上の参加を達成することが出来ました。継続的な居場所としての役割を果たすことができた一方、新規参加者の割合は目標を下回る結果となりました。今後は、外部団体との連携や広報方法の工夫を通じて新規参加者の増加を図りつつ、引き続き、参加者が安心して達成感やリラックスを得られる居場所づくりを継続していきたいと考えています。

目標②子ども向けワークショップ“みんなの制作会”へ、親子で参加してもらうようチラシを 20 人へ渡し周知をする。

子ども向けワークショップ「みんなの制作会」への親子参加を促すため、あきらごみゼロくらぶさん主催のきたまつどみらい堂の子ども向けワークショップにてチラシ配布による周知を行いました。当初は 20 名への配布を目標としていましたが、実際には制作会のチラシを 8 枚配布する結果となりました。配布数は目標には達しなかったものの、制作会参加者や関係者に対して直接手渡しで案内を行うことで、事業内容を丁寧に伝える機会となりました。

目標③みんなの制作会 大人 10 名 子ども 16 名、うち制作会のリピーター 5 割以上。新規 2 割以上。

子ども向けワークショップ「みんなの制作会」では、15 組（大人 15 名、子ども 22 名）の参加がありました。そのうち、リピーター 10 組（5 割以上）、新規参加は 5 組（2 割以上）でした。目標に対して、参加者数・リピーター割合、新規参加割合全て目標を達成しました。また、実施後のアンケート結果から、「楽しい・わくわくするものを感じる」「リラックスしている時間がある」「達成感を感じる時がある」といった肯定的項目が増加しました。一方で、「つらいと感じる」「心配や不安がある」「無力感を感じる時がある」といった否定的項目は減少し、親子での制作活動が気分転換や心理的負担の軽減につながったと考えられます。継続参加と新規参加の両立が図られたことから、居場所としての継続性と新たな参加者への広がりの方を両方を実現することができました。

目標④ちいさな制作会 活動を周知してもらい、制作会へも興味を持ってもらう。参加者大人 10 名 子ども 10 名。新規 2 割。

「ちいさな制作会」では、活動の周知を行い、制作会への関心を高めることを目的として実施しました。当日は 10 組（大人 10 名、子ども 14 名）の参加があり、新規参加は 6 組（2 割以上）となり、目標を達成しました。実施後のアンケート結果から、「楽しい・わくわく

するものを感じる」「リラックスしている時間がある」「達成感を感じる時がある」といった肯定的項目が増加しました。また、「つらいと感じる」「心配や不安がある」「無力感を感じるときがある」といった否定的項目は減少し、短時間でも創作活動を行うことが、気分転換や心理的負担の軽減につながったと考えられます。新規参加者の割合が高かったことから、活動の周知および制作会への関心喚起という当初の目的を達成することができました。

5 今後の事業展開

本事業を通じて、制作活動が参加者の気分転換や達成感の向上につながることを確認できました。

今後は、少人数でも参加しやすい制作会を継続しつつ、新規参加者への周知方法を工夫し、地域に根ざした活動として展開していきたいと考えています。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	参加費（材料費）	¥ 15,000	¥ 10,500	¥ 4,500	第1回300円×8人・第2回300円×5人・第3回300円×8人・第4回300円×4人・第5回300円×10人
	イベント参加費（材料費）	¥ 7,200	¥ 9,700	¥ ▲2,500	子どもむけワークショップ（50円×16人） みんなの制作会（大人300円×15人・子ども200円×22人）
	保育料（希望者のみ）	¥ 5,400	¥ 0	¥ 5,400	制作会（300円×0名×5回） ちいさな制作会（300円×0名）
	団体拠出金	¥ 0	¥ 449	¥ ▲449	
	自己資金の合計（A）	¥ 27,600	¥ 20,649	¥ 6,951	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額（C）＝（A＋B）		¥ 127,600	¥ 120,649	¥ 6,951	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品	¥ 42,347	¥ 81,434	¥ ▲39,087	【文具】 フリクション・インク・ハサミ・クリップボード・A4コピー用紙・ボンド・ボンド詰替え等 【各イベント共通手芸用品】 手芸用道具類一式（工具、レジランブ、等一式） 手芸材料費（レジ、アクセサリ資材、布等一式） 【未就園児の親子イベント】 手形、足形アート一式（アクリル板、シール、手形ハンコ等一式）厚手レジャーシート 【イベント消耗品】 養生テープ、セロテープ、ゴミ袋、持ち帰り袋等
	食糧費	¥ 9,200	¥ 10,953	¥ ▲1,753	お茶菓子、飲み物 みんなの制作会 7035円 ちいさな制作会 3918円
	印刷製本費	¥ 8,000	¥ 2,869	¥ 5,131	みんなの制作会チラシ 200部 2779円 アンケートコピー代 90円
	使用料及び賃借料	¥ 17,110	¥ 4,250	¥ 12,860	第一会議室（270円×3時間）第二会議室（220円×2時間） 南花島会館（1000円×3時間）
	報償費	¥ 43,200	¥ 9,900	¥ 33,300	ちいさな制作会（1時間1800円×保育士2名×2.5時間）
	保険料	¥ 4,743	¥ 4,743	¥ 0	行事保険料 1581円×3日 （みんなの制作会、ちいさな制作会、子ども向けワークショップ）
	対象経費の合計（D）	¥ 124,600	¥ 114,149	¥ 10,451	
（その他）経費	子ども向けワークショップ参加費	¥ 3,000	¥ 1,200	¥ 1,800	きたまつどみらい堂出展料（正会員のみのみ）300円×4人
	資材購入交通費	¥ 0	¥ 3,340	¥ ▲3,340	580円×往復×2名・170円×往復×3名
	昼食代	¥ 0	¥ 1,960	¥ ▲1,960	980円×2名
	その他経費の合計額（E）	¥ 3,000	¥ 6,500	¥ ▲3,500	
合計額（F）＝（D＋E）		¥ 127,600	¥ 120,649	¥ 6,951	

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が、対象となる経費（D）欄の90%以内であること。
- 2 自己資金（A）欄が、「対象経費（D）欄の10%以上」であること。
- 3 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

別紙 1

収支内訳書

【收入】

区分	科 目	金 額	内 訳・説明事項
団 体	参加費（材料費）	¥ 10,500	第1回300円×8人・第2回300円×5人・第3回300円×8人・第4回300円×4人・第5回300円×10人
	イベント参加費（材料費）	¥ 9,700	子どもむけワークショップ（50円×16人） みんなの制作会（大人300円×15人・子ども200円×22人）
	団体拠出金	¥ 449	
	自己資金の合計額	¥ 20,649	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合 計 額		¥ 120,649	

【支出】

科 目		金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	消耗品	¥ 81,434	【文具】 ハサミ（369円×3本・750円×2本）フリクション（220円×2本・202円×4本）レジン液（1100円×2本）ボンド詰め替え（712円×1本） コピー用紙（548円×1袋）・等 【各イベント共通手芸用品】 手芸用道具類一式（手芸用工具セット（1760円×2セット）・レジンライト（2180円×1・1938円×1）・ピンセット（110円×6本））等 手芸材料費（丸カン（99円×1袋）・アークレジン（1210円×3）・皿付きピアス（173円×2）、シリコンモチーフ（107円×11））等 【未就園児の親子イベント】 手形、足形アート一式（COLORSそらいろ（710円×1）・COLORSももいろ（710円×1）・フォトフレームポストカードセミクリア（110円×10）・シール（110円×14）等 厚手レジャーシート（4378円×1） 【イベント消耗品】 養生テープ（251円×2巻・294円×1）・セロテープ（581円×1個）・松戸市指定ゴミ袋（96円）等
	食糧費	¥ 10,953	お茶菓子、飲み物 みんなの制作会 7035円 ちいさな制作会 3918円
	印刷製本費	¥ 2,869	みんなの制作会チラシ200部 2779円 アンケートコピー 90円
	使用料及び賃借料	¥ 4,250	第一会議室（270円×3時間）第二会議室（220円×2時間） 南花島会館（1000円×3時間）
	報償費	¥ 9,900	ちいさな制作会（1時間1800円×保育士2名×2.5時間+税）
	保険料	¥ 4,743	行事保険料 1581円×3日 （みんなの制作会、ちいさな制作会、子ども向けワークショップ）
	対象経費の合計	¥ 114,149	
	その他経費	子ども向けワークショップ参加費	¥ 1,200
資材購入交通費		¥ 3,340	580円×往復×2名・170円×往復×3名
昼食代		¥ 1,960	980円×2名
その他経費の合計		¥ 6,500	
合 計 額		¥ 120,649	

みんなで育て みんなでつくる
沿道の食べられる景観事業

エディブルウェイプロジェクトチーム

みどりと花の課

活動状況報告書

1 事業名称 みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業

2 実施主体

■団体名：エディブルウェイプロジェクトチーム

従事者数：15名

団体概要：沿道の住宅や店舗前、地域の拠点、街中のプランターなどで、野菜やハーブなどを育てる「食べられる景観」づくりや、植物クラフト活動を実施する。

生活に身近な場所での園芸活動を通じ、住民の交流を促進し、地域コミュニティ向上、地域環境を学び合う場を創出する。

■事業担当課：みどりと花の課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

プロジェクト地域での事業企画・運営・実施

■担当課の役割

まちのプランター活動場所の提供、一部花苗の提供、地域との連携サポート

4 事業の実施内容（事業計画の事業内容に書かれた事業毎に分けて記載）

(1) 事業内容

(1)-① 食べられる景観づくり（4-5月・9-10月）（沿道の個人宅、事業所前）

日 付	作 業 内 容
4/12～	苗配布交換会まで、各自自宅で育苗活動
4/20	苗配布交換会チラシ作成
4/22	参加者への案内（ポスティング、メール、地域店舗配架）
4/29	植え替え講座講師と打ち合わせ・助言
5/17	苗・タネ配布交換会（参加者9名）
5/21	学童訪問・打ち合わせ
5/18	地域包括支援センター前植え替え事前打ち合わせ
5/22	地域包括支援センター前プランター植え替え
5/28	学童保育前プランター植付け
7/29	地域包括支援センター前プランター植え替え
8/20	苗配布交換会チラシ作成
8/30	参加者への案内（ポスティング、メール、地域店舗配架）
9/1～	苗配布交換会まで、各自自宅で育苗活動
10/8	植え替え講座講師事前打ち合わせ（オンライン）
10/18	地域包括支援センター前植え替え事前打ち合わせ、 植え替え講座（参加者11名）、苗・タネ配布交換会（参加者12名） 場所：こでまり

10/29	学童訪問・打ち合わせ
11/6	地域包括支援センター前プランター植え替え
11/19	学童保育前プランター植え替え
3/14～	育苗活動

(1)-② 食べられる景観づくり（通年）（まちのプランター）

日 付	作 業 内 容
4/2	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
4/9	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
4/12	まちのプランター26名参加、育苗8名
4/18	まちのプランター5月チラシ作成
4/20	参加者へ案内（掲示板、LINEオープンチャット）
5/14	植え付け準備、レイアウト図作成、資材買い出し
5/16	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
5/18 *雨のため 5/17から延期	まちのプランター 11名参加 植え付け
5/21	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
5/26	まちのプランター6月チラシ作成
5/27	参加者へ案内（掲示板、LINEオープンチャット）
5/28	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
6/1	視察対応（長野県 団体）
6/4	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
6/11	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
6/14	まちのプランター20名参加 種取り、ハーブウォーター飲み比べ
6/19	まちのプランター7月チラシ作成
6/20	参加者へ案内（掲示板、LINEオープンチャット）
6/28	資材買い出し、追加植え付け
7/2	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
7/12	まちのプランターお世話会 24名参加 ジャガイモ収穫・試食会
7/18	まちのプランター8月チラシ作成
7/18	水管理表設置
7/19	参加者へ案内（掲示板、LINEオープンチャット）
7/23	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
8/9	まちのプランターお世話会 21名参加 虫除けスプレーWS参加者9名

8/12	スタッフ打ち合わせ、コミュニティガーデン視察（西千葉）
8/12	まちのプランター9月チラシ作成
8/13	参加者へ案内（掲示板、LINE オープンチャット）
8/20	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
8/21	寄せ植え講座案内チラシ作成
8/21	資材買い出し（秋植え用 苗資材）
9/3	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
9/10	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
9/13	まちのプランターお世話会 13名参加 水管理サイン作成、設置
9/15	まちのプランター10月チラシ、活動レポート作成、次回予告（LINE オープンチャット、SNS）
9/24	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
10/17	秋の植え替え計画図作成
10/18	まちのプランターお世話会 14名参加 秋の植え替え、ハーブティーお茶会
10/19	まちのプランター11月チラシ、活動レポート、次回予告（LINE オ ープンチャット、SNS）
10/19	チラシ作成
10/28	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
10/28	参加者へ案内（掲示板、LINE オープンチャット）
11/8	まちのプランターお世話会 12名参加 種まき、収穫、ハーブティーお茶会、収穫物（麦、赤シソ）仕分け 作業
11/24	まちのプランター12月チラシ、活動レポート、次回予告（LINE オ ープンチャット、SNS）
11/24	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
11/25	チラシ作成
11/30	参加者へ案内（掲示板、LINE オープンチャット）
11/30	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
12/10	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
12/13	まちのプランターお世話会 15名参加 水やり、追肥、支柱立て、ハンドクリーム作り、収穫した赤シソジ ュース試飲
12/13	まちのプランター1月チラシ、活動レポート、次回予告（LINE オ ープンチャット、SNS）
12/21	チラシ作成
12/22	参加者へ案内（掲示板、LINE オープンチャット）
1/7	スタッフ打ち合わせ（オンライン）

1/10	まちのプランターお世話会 13名参加 水やり、追肥、収穫物でミネストローネ試食会
1/13、14	まちのプランター2月チラシ、活動レポート、次回予告（LINEオープンチャット、SNS）
1/14	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
1/18	参加者へ案内（掲示板、LINEオープンチャット）
1/21	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
2/4	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
2/21	まちのプランターお世話会 13名参加 水やり、追肥、手浴、ハーブティーお茶会
2/22	まちのプランター3月チラシ、活動レポート、次回予告（LINEオープンチャット、SNS）
3/1	チラシ作成
3/2	参加者へ案内（掲示板、LINEオープンチャット）
3/4	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
3/11	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
3/14	まちのプランターお世話会 13名参加
3/15	まちのプランター4月チラシ、活動レポート、次回予告（LINEオープンチャット、SNS）
3/18	スタッフ打ち合わせ（オンライン）
3/19	チラシ作成
3/20	育苗活動

(2) 子ども向けクラフトワークショップの開催（2025年4月・2026年2月・3月）
子ども向けクラフトワークショップは、「クラフトワークショップ」として、多世代交流の場にもなるように、特定の年代に限らずに開催した。

日 付	作 業 内 容
4/12	クラフトワークショップ準備（緑と花のフェスティバル）
4/29	クラフトワークショップ（参加者45名）（緑と花のフェスティバル）
11/25	講師と打ち合わせ（オンライン）
1/10	チラシ作成
1/14	申込案内（メール、LINEオープンチャット、SNS、配布、掲示板）
	ワークショップ準備
1/31	チラシ作成
2/4	講師と打ち合わせ
2/12	申込案内（メール、LINEオープンチャット、SNS、配布、掲示板）
	ワークショップ準備

2/21	クラフトワークショップ開催（ハーブクラフト）」 （参加者 21 名）
3/14	クラフトワークショップ開催（草花あそび） （参加者 23 名）

(3) 情報発信

- ・ **チラシでの発信**：各回チラシ（合計 17 回：苗交換会 2 回、まちのプランター 1 2 回、植え替え講座 1 回、ワークショップ 2 回）を作成し、紙媒体では、町会掲示板への掲示、地域連携店舗などでの配架、参加者へのポスティングをした。チラシは、SNS、メールで配信。
- ・ **SNS（LINE オープンチャット）での発信**：プロジェクト参加者が参加できる LINE オープンチャットの開設。毎月の活動の告知、栽培状況など情報共有を発信。
- ・ **SNS（Instagram、facebook）での発信**：活動告知、報告の発信。
- ・ 松戸市みどりと花の課が発行する「みどりのメッセージブック」でエディブルウェイプロジェクトの紹介記事掲載。（担当課及び、団体が記事作成）
- ・ 松戸市 YouTube で活動のショート動画の発信（担当課作成）
- ・ エディブルウェイの取り組みに関する寄稿（江口）：KENCHIKU 新聞連載、修景千葉（一般財団法人 日本造園修景協会 千葉県支部）、CLA journal 2025 年
- ・ エディブルウェイの取り組みに関する講演（江口）：ランドスケープフォーラム 2026 年 1 月、日本造園修景協会 千葉県支部 総会講演会
- ・ メディア：日本経済新聞 2025 年 9 月 25 日「郊外住宅地「農」で交流促す「食べられる景観」まちづくりに 」取材記事、ラジオ出演（江口）「食べられる景観『エディブルランドスケープ』」 TOKYO FM（全国 38 局ネット） あぐりずむ 2025 年 11 月 4 日

(2) 事業内容のふりかえり

(1)-① 食べられる景観づくり（4-5 月・9-10 月）（沿道の個人宅、事業所前）
概ね計画通り実施できましたが、5 月の植え替え講座のみ日程調整の都合により未開催となりました。講師とは事前に打ち合わせを行い助言を受けるとともに、関連書籍を追加購入し、メンバーで学習を行いながら植え替え準備を進めました。
当初は絵本 5 冊、園芸書 5 冊を計上しておりましたが、講座未開催に伴う学習機会の補完として園芸関連書籍等を追加購入し、知識の共有を図りました。
なお、絵本については地域施設「こでまり」へ寄贈し、地域での活用につなげております。
10 月には外部講師を招き、土を入れ替えずに栽培するリレー栽培講座を開催し、持続可能な栽培方法を学びました。また、講座会場は地域施設「こでまり」を無償でお借りしました。
有志の「苗部」により植え替え用の苗の栽培を年 3 回行いました。苗は、まちのプランターに植えたり、苗配布交換会にて希望者に配布、交換しました。5・10 月に開催したタネ・苗配布交換会では、自宅で余っている苗やタネを持ってきたり参加形態とすることで、植物の交換や、育て方などを教えあう、交流のきっかけとなりました。

(1)-② 食べられる景観づくり（通年）（まちのプランター）
みどりと花の課が管理する地域沿道に設置されている 11 箇所のプランターを「まちのプ

ランター」とし、食べられる景観づくりを実施しました。既存の参加者に加え、町会、子ども会、地域包括支援センターなど様々な主体と協力し、また新規参加者も会を追うごとに増え、幅広い年齢層による地域のみどりのつながりを広げることができました。月 1 回お世話会を開催し、プランターのお手入れをした後、毎回栽培した植物を活用したミニワークショップを開催し、参加者の交流を深めると共に、管理活動参加への動機づけや知識向上にも役立てることができました。

収穫した植物を調理する試食会も行い、蒸しじゃがいも、麦入りミネストローネ、ハーブティーなど、参加者と一緒に食べることも楽しみ、収穫物を分かち合う機会を設けました。

12 月に参加者提案によるハンドクリームづくりワークショップも行われ、参加者それぞれの栽培活動への意欲が向上していることを実感しました。お世話会には、地域包括支援センターの活動つながりや Instagram での発信をきっかけに、都内や市内の他地域からも参加が増えています。

また寄せ植えをすることで、プランターの土を入れ替えずに育てるリレー栽培を実践し、11 箇所のプランター全て異なる組み合わせの植物を植え、通りからプランターの彩りを見る楽しさが増して、良い効果となりました。近隣の方、通りすがりの方、近くの保育所など、さまざまな方々と植物を通しての交流が生まれました。

なお、会場費が想定より低額で利用できたため、当初予算より減額となりました。

(2) 子ども向けクラフトワークショップの開催（2025 年 4 月・2026 年 2 月・3 月）

子ども向けクラフトワークショップは、「クラフトワークショップ」として、多世代交流の場にもなるように、特定の年代に限らずに開催しました。

4 月に開催された緑と花のフェスティバルにおいて、クラフトワークショップを開催するとともに、活動を PR しました。

2 月にハーブクラフトワークショップを開催し、小学生から高齢者までが参加し、ハーブの使い方、楽しみ方を学ぶことができました。

3 月に草花あそびワークショップを開催し、小学生から高齢者までが参加し、麦を使った草花あそびを学ぶことができました。

ハーブ講座、クラフトワークショップからエディブルウェイの活動に関心を持ってくださる方、リピーターの方など、市内の他地域からも参加者が多く、大変好評に終えることができました。

(3) 情報発信（通年）

毎月のまちのプランター活動（12 回）、苗・タネ交換会、ワークショップ（4 回）のチラシを作成し、地域の掲示板、地域施設などでの配架、参加者へのポスティング配布するとともに、SNS（Instagram、Facebook、LINE オープンチャット、メール）で配信しました。内容は、イベント案内、活動レポート、次回予告をまとめています。

なお、チラシ印刷は当初、イベント関連のみ外注印刷（100 部×6 回）を想定しておりましたが、SNS やメールでの告知を併用することで大量印刷の必要がなくなったため、外注は行わず内部印刷へ変更いたしました。また、月 1 回のまちのプランター活動に伴い、活動レポートや次回予告を掲載した通信を毎月発行したことから告知回数が増加し、イベント関連に加えて印刷物の種類も増加いたしました。そのため、外注印刷費用相当分をトナー購入に充て、結果として印刷関連経費（消耗品費）は当初見込みより増額となりました。

担当課では、毎月のまちのプランター活動を動画にまとめ、松戸市 YouTube で配信し、多くの方々に活動を知っていただくことができました。

5 事業成果について（事業計画の事業の目標に書かれた項目毎に分けて記載）

・目標の達成と課題の解決について

・食べられる景観づくり：沿道の新規参加者（5 世帯）、地域の拠点施設への展開（1 カ所以上）を目指す。

→沿道の新規参加者は地域拠点 1 カ所（学童保育）にプランターを設置しました。みどりと花のフェスティバルのクラフトワークショップや植え替え講座をきっかけに、他地域へも、48 個のプランターを設置しました。

沿道地域の地域拠点施設（地域包括支援センター、学童保育）では、利用者と一緒に年 2 回の植え替えを行いました。

本事業とは別事業ですが、みどりと花の課の事業である「みどりの愛護のつどい」の機運醸成を目的とした事業で、市内他地域の施設前 23 箇所にプランター設置の支援をしました。来年度も食べられる景観づくりの継続支援を行っていきたいと考えています。

・まちのプランター活動：月 1 回の活動を実施。多世代にわたる 15 名程度の参加者を目指す。まちのプランターの手入れと、植物を用いたイベントの開催を行う。学びや交流の場づくりを通して、活動を継続するための知識を共有する。

→日常の水やりなどの管理は、各自が通勤、通学、散歩の時などに各自で行っています。

月 1 回のお世話会活動には毎回多世代の方が参加し、2026 年 1 月までで、平均 17 名程度、延べ 169 名が参加してくださっており、概ね、目標の 15 名程度は達成できました。

お世話会では、管理活動の後に、毎回收穫物や剪定作業をした植物を使ったミニワークショップ（クラフトや試食会）を開催して、栽培や管理活動へのモチベーションとなる機会を設けました。主に、運営チームが主導して全体の企画をしていましたが、12 月には、参加者からの提案で、参加者が講師になるワークショップも行われ、大変好評であり、学びや交流の場が充実しました。来年度も参加者メンバーさんと継続して企画をすることになりました。

また、クラフトワークショップや植え替え講座では、半数以上が市内の他地域からの参加者であり、市内の他地域へも広く活動を PR することができました。

6 今後の事業展開

- ・現活動地域における地域拠点施設への活動の展開・拡充。
- ・まちのプランター活動の安定した管理・運営の仕組みづくり。
- ・活動レポートブックを発行し、普及啓発活動に努める。
- ・協働事業終了後は、松戸市内各地域で「食べられる景観づくり」の普及活動と、立ち上げ支援を行える基盤をつくる。
- ・市内イベント等で、苗やクラフトグッズの販売、ワークショップの開催などの収益により、活動資金を調達し、活動継続できることを目指す。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 （Ａ）	¥ 919,296	¥ 901,854	¥ 17,442	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	イベント(WS・講座)参加費	¥ 87,000	¥ 79,100	¥ 7,900	(1)リレー栽培講座500円*11人*1回、ミニWS (8月:200円*9人、12月:100円*15人、1月:100円*13人)、(2)クラフトWS (4月:300円*45人、2月:1500円*21人、3月:1000円*24人)
	団体拠出金	¥ 0	¥ 20,918	¥ ▲20,918	
				¥ 0	
	自己資金の合計額（Ｂ）	¥ 87,000	¥ 100,018	¥ ▲13,018	
市	協働事業負担金 （Ｃ）	¥ 377,300	¥ 377,300	¥ 0	←精算額
合計額（Ｄ）＝（Ｂ＋Ｃ）		¥ 464,300	¥ 477,318	¥ ▲13,018	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 120,000	¥ 90,000	¥ 30,000	講座外部講師謝礼金（30,000円*3回）
	消耗品費	¥ 238,500	¥ 304,175	¥ ▲65,675	[食べられる景観づくり] ・苗：トマト、スイカ、パプリカ 1863円 ・ハーブチンキ事典 1650円、ベランダで愉しむ小さな寄せ植え菜園 1870円*2 [クラフトWS]・布に書けるペン6色まとめ買い3セット5848円 ほか
	食糧費	¥ 16,000	¥ 8,245	¥ 7,755	まちのプランター活動、講座お茶代
	印刷製本費	¥ 13,800	¥ 0	¥ 13,800	
	使用料及び賃借料	¥ 25,600	¥ 14,820	¥ 10,780	・4/12会議室（自治会館）2H ¥800：まちのプランター活動 ・5/17会議室（自治会館）3H ¥1200：まちのプランター活動・タネ・苗交換会 ほか
	保険料	¥ 2,000	¥ 2,000	¥ 0	・2/21、3/14 クラフトWS レクリエーション保険（1000円*2回）
	通信運搬費	¥ 4,400	¥ 5,360	¥ ▲960	・チラシ・資料送付（5、2、3月 レターパック430円*4回） ・WS資材配送（1530円） ほか
				¥ 0	
	対象経費の合計（Ｅ）	¥ 420,300	¥ 424,600	¥ ▲4,300	
（その他）対象外経費	お弁当代	¥ 12,000	¥ 19,200	¥ ▲7,200	1日活動日の運営スタッフお弁当代（4/12、4/29（5名*600円）、6/14、7/12、9/13、10/18、12/13、3/14（3名*600円） ほか
	交通費	¥ 26,000	¥ 26,864	¥ ▲864	スタッフ（松戸ーみどり台（471円）*往復*12回）、レンタカー代（4/29、10/18）5840円*2回、講師交通費2月（往復3080円）、荷物搬入駐車場代 2/21（800円）
	HPサーバーレンタル・ドメイン	¥ 6,000	¥ 6,654	¥ ▲654	HPサーバー¥3960、ドメイン¥2694
	その他経費の合計額（Ｆ）	¥ 44,000	¥ 52,718	¥ ▲8,718	
合計額（Ｇ）＝（Ｅ＋Ｆ）		¥ 464,300	¥ 477,318	¥ ▲13,018	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金（Ｃ）が、対象となる経費（Ｅ）欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金（Ｃ）が、自己資金（Ｂ）欄に労力換算額（Ａ）欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	イベント(WS・講座)参加費	¥ 79,100	(1)リレー栽培講座500円*11人*1回、ミニWS (8月:200円*9人、12月:100円*15人、1月:100円*13人)、(2)クラフトWS (4月:300円*45人、2月:1500円*21人、3月:1000円*24人)
	団体拠出金	¥ 20,918	
	自己資金の合計額	¥ 100,018	
市	松戸市負担金	¥ 377,300	
合 計 額		¥ 477,318	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項 (用途など)
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	講座外部講師謝礼金 (30,000円*3回)
	消耗品費	¥ 304,175	[食べられる景観づくり] ・おおまさら種 760円 ・苗: トマト、スイカ、パプリカ 1863円、マリーゴールド 108円、唐辛子、きゅうり、ペチュニアほか 1137円、ローズマリー 723円 ・ハーブチンキ事典 1650円、ベランダで愉しむ小さな寄せ植え菜園 1870円*2 [クラフトWS] ・布に書けるペン6色セット 1494円、1880円 まとめ買い3セット5848円 ・テーブルクロス 660円 ・精製水 346円 ほか
	食糧費	¥ 8,245	まちのプランター活動、講座お茶代
	使用料及び賃借料	¥ 14,820	・4/12会議室 (自治会館) 2H ¥800: まちのプランター活動 ・5/17会議室 (自治会館) 3H ¥1200: まちのプランター活動・タネ・苗交換会 ほか
	保険料	¥ 2,000	・2/21、3/14 クラフトWS レクリエーション保険 (1000円*2回)
	通信運搬費	¥ 5,360	・チラシ・資料送付 (5、2、3月 レターパック430円*4回) ・WS資材配送 (1530円) ほか
	対象経費の合計	¥ 424,600	
その他経費	お弁当代	¥ 19,200	スタッフお弁当代(4/12、4/29 (5名*600円)、6/14、7/12、9/13、10/18、12/13、3/14 (3名*600円)、1/10、2/21 (2名*600円))
	交通費	¥ 26,864	スタッフ (松戸ーみどり台 (471円)*往復*12回)、レンタカー代 (4/29、10/18) 5840円*2回、講師交通費2月 (往復3080円)、荷物搬入駐車場代 2/21 (800円)
	HPサーバーレンタル・ドメイン	¥ 6,654	HPサーバー¥3960、ドメイン¥2694
	その他経費の合計	¥ 52,718	
合 計 額		¥ 477,318	

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×1026円
	まちのプランター植え付け準備	49,248 円	3 人 × 8 h × 2 回 × 1026 円
	まちのプランター植え付け	10,260 円	5 人 × 2 h × 1 回 × 1026 円
	まちのプランター名札類取り付け	15,390 円	5 人 × 3 h × 1 回 × 1026 円
	まちのプランター活動日(12回)	184,680 円	3 人 × 5 h × 12 回 × 1026 円
	まちのプランター活動準備(12回)	110,808 円	3 人 × 3 h × 12 回 × 1026 円
	育苗活動(3回)	76,950 円	5 人 × 5 h × 3 回 × 1026 円
	タネ・苗交換会準備(2回)	12,312 円	3 人 × 2 h × 2 回 × 1026 円
	タネ・苗交換会開催(2回)	6,156 円	3 人 × 1 h × 2 回 × 1026 円
	WS・講座準備(3回)	46,170 円	3 人 × 5 h × 3 回 × 1026 円
	講座開催(1回)	12,312 円	3 人 × 4 h × 1 回 × 1026 円
	WS開催(2回)	41,040 円	5 人 × 4 h × 2 回 × 1026 円
	WS・講座 講師打ち合わせ(3回)	18,468 円	3 人 × 2 h × 3 回 × 1026 円
	スタッフ打ち合わせ(26回)	160,056 円	3 人 × 2 h × 26 回 × 1026 円
	サイン作成・修理(1回)	6,156 円	3 人 × 2 h × 1 回 × 1026 円
	クラフトワークショップ(緑と花のフェスティバル) 準備	15,390 円	3 人 × 5 h × 1 回 × 1026 円
	クラフトワークショップ(緑と花のフェスティバル)	15,390 円	3 人 × 5 h × 1 回 × 1026 円
	チラシ作成(17回)	52,326 円	1 人 × 3 h × 17 回 × 1026 円
	チラシ配布、掲示、ポスティングなど発信作業(17回)	52,326 円	1 人 × 3 h × 17 回 × 1026 円
	地域拠点事前打ち合わせ(4回)	2,052 円	1 人 × 0.5 h × 4 回 × 1026 円
	地域拠点植え付け活動(5回)	10,260 円	2 人 × 1 h × 5 回 × 1026 円
	視察対応(1回)	4,104 円	2 人 × 2 h × 1 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 1026
合 計 (A)		901,854 円	

矢切地区における子どもの遊び場創設事業

あそびパーク やきりの

活動状況報告書

1 事業名称 矢切地区における子どもの遊び場創設事業

2 実施主体

■団体名： あそびパーク やきりの

従事者数： 5名

団体概要： 矢切地域で、子どもが安心してのびのびと育つことができるよう、子ども・子育て世帯とそれ以外の立場の人が相互に理解し合える環境を目指す。地域全体で子育てのし易さが実感でき、また、子どもたちの自主性や感性を引き出す機会となる様な以下の企画運営を行う。

1. プレイパークや農体験などの機会

2. 子どもへの理解・関心が深まる様な、子どもに関連した映画の上映会

3. その他子どもに関連したイベントへの出展

3 事業の実施内容（事業計画書の事業内容に書かれた事業毎に分けて記載）

(1) 事業内容

①プレイパークの実施

日 付	作 業 内 容
4月1日～4月18日	チラシの企画及び作成
4月20日	河川清流課へ親水広場利用の打ち合わせ
4月8日～5月20日	遊び道具等物品購入
5月9日	事業企画打ち合わせ
5月19日	チラシの印刷
5月24日～5月25日	5/25分プレイパーク告知(Instagram)
5月25日	1回目／休日プレイパークの実施（14～16時）参加者：大人9人、子ども13人（坂川親水広場）
5月31日	5/25開催分プレイパークの活動報告（Instagram）
6月25日～3月31日	チラシを配架（まつど市民活動サポートセンター、矢切幼稚園）
6月27日	防草用ひまわり種まき（構成員のみ）
6月27日～6月29日	6/29分プレイパーク告知(Instagram)
6月29日	2回目／休日プレイパークの実施（10～14時）参加者：大人5人、子ども7人（坂川親水広場）
7月4日	6/29開催分プレイパークの活動報告（Instagram）
8月25日～9月14日	9/14分プレイパーク告知(Instagram)
9月14日	3回目／休日プレイパークの実施（14～16時）参加者：大人4人、子ども4人（坂川親水広場）
9月29日	チラシの増刷、事業企画打ち合わせ
10月21日	10/22プレイパーク雨天中止の告知（Instagram）
10月22日	平日プレイパークの実施予定が雨のため中止
2月19日～2月25日	2/25分プレイパーク告知(Instagram)

2月24日	遊び道具購入 2/25 プレーパーク雨天延期の告知 (Instagram)
3月9日	4 回目／平日プレーパークの実施 (10～14 時) 参加者：大人4人、子ども5人 (坂川親水広場) 3/9 開催分プレーパークの活動報告 (Instagram)

②農体験イベントの実施

日 付	作 業 内 容
4月1日～4月18日	チラシの企画及び作成
4月5日～4月9日	農体験イベント①【準備】枝葉集め分告知 (Instagram) ※満員の為 4/9 締切
4月18日～5月30日	枝葉集め
4月19日	チラシの印刷
4月20日	農体験イベント①【開催】枝葉集めの実施 参加者：大人10人、子ども12人 (坂下ほんでん子どもの遊び場)
4月27日	農体験イベント①【報告】枝葉集めの活動報告 (Instagram)
4月29日～6月1日	農体験イベント②【準備】畝作り分告知 (Instagram)
5月9日	事業企画打ち合わせ
5月11日～5月12日	農業資材購入
5月19日	チラシの印刷
6月1日	農体験イベント②【開催】畝作りの実施 参加者：大人12人、子ども16人 (坂下ほんでん子どもの遊び場)
6月4日	畝作り (構成員のみ)
6月8日	畝作り (構成員のみ)
6月12日	マルチ張り (構成員のみ)
6月25日～3月31日	チラシを配架 (まつど市民活動サポートセンター、矢切幼稚園)
8月31～9月14日	農体験イベント③【準備】植付分告知 (Instagram)
9月3日	畑の整備 (構成員のみ)
9月7日	畑の整備 (構成員のみ)
9月10日	畑の整備 (構成員のみ)
9月10日～9月12日	苗等農業資材購入
9月14日	農体験イベント③【実施】植付の実施 参加者：大人7人、子ども6人 (坂下ほんでん子どもの遊び場)
9月17日	防鳥ネット張り、畑の整備 (構成員のみ)
9月23日	畑の整備 (構成員のみ)
9月29日	チラシの増刷、事業企画打ち合わせ
10月9日	種まき、畑の整備 (構成員のみ)
10月12日	野菜の苗、種購入
10月13日	種まき、苗の植付 (構成員のみ)
10月27日	苗の植付 (構成員のみ)
10月29日～11月6日	農体験イベント④【準備】収穫分告知 (Instagram)

10月30日	野菜の間引き（構成員のみ）
11月2日	野菜の苗、種購入
11月7日～11月23日	農体験イベント④【準備】収穫分の日程延期を告知（Instagram）
11月16日	野菜の間引き（構成員のみ）
11月23日	農体験イベント④【実施】収穫の実施 参加者：大人8人、子ども7人（坂下ほんでん子どもの遊び場）
11月25日	農体験イベント④【報告】収穫の活動報告（Instagram）
11月30日～12月2日	農体験イベント⑤【準備】収穫分告知（Instagram）
12月2日	農体験イベント⑤【実施】収穫の実施 参加者：大人2人、子ども2人（坂下ほんでん子どもの遊び場）

③映画上映会の実施

日 付	作 業 内 容
4月1日	映画配給会社に自主上映・素材借用申込
4月6日～4月28日	チラシの企画及び作成
4月15日	松戸市教育委員会に後援申請 上映会場との打ち合わせ
4月26日	市民自治課へチラシ配架・掲示申請
5月2日	チラシの印刷手配
5月9日	チラシ仕分け
5月14日	上映会宣伝（Instagram）
5月19日	チラシの増刷手配
5月26日～6月4日	映画素材到着、素材チェック試写
5月29日	上映会宣伝（Instagram）
6月1日	広報まつど掲載
6月2日	上映会宣伝（Instagram）
6月3日～6月7日	上映会宣伝（Instagram 有料広告）
6月4日	リハーサル
6月7日	映画上映会の実施 参加者：大人25人、子ども26人（矢切幼稚園ホール）
6月18日	映画借用料金振込、映画素材返送
6月20日	松戸市教育委員会に「後援行事実施報告書」提出
6月26日	上映会活動報告（Instagram）

(2)事業内容のふりかえり

①プレーパークの実施 について

計画では年7回のところ、5回の開催（内1回は雨天中止）へ変更となった。
計画ではお菓子を提供する事とし、その費用として1人100円を徴収するとした。開催に向け準備と研鑽をすすめるなかで、外遊びのために参加費を取りお菓子を配る行為に疑問が生じ、プレーパーク本来の意図からも乖離するのではないかと意見と、また体験格差の観点からも、参加費徴収・お菓子の配布は不要との結論に至った。
それを受けて、農業体験（有料同額）との同時開催を一部予定していたが、有料者と無料者が混在する事になり、同じ場所で線を引くことは困難であると判断。明確に場所と日時を分けて開催することとした。

その結果、稼働日数が増える事で人員の確保が難しくなり、また農業体験は行程を減らすことが出来ないため、やむなく休日のプレーパーク開催日数（年7回→5回開催）を縮小するに至った。

②農業体験イベントの実施 について

計画内容はすべて行うことが出来た。

スケジュールについては天候と野菜の発育によりずれが生じた。

雨天延期や特に暑い時期の開催時間、また収穫時期には野菜の発育不足により予定より3週間延期するなど、かなり調整が必要となった。

予算はおおむね計画のとおりだが、購入予定であったスコップを松戸市から借りることとなり、その分の費用が削減された。

③映画上映会の実施 について

スケジュール、事業内容共に計画した通り実施する事が出来た。

予算の増減については、映画素材使用料を前年度上映作品と同額で予算を組んでいた為差異が生じた。また、来場者へのアンケートを紙面から入力フォームへ変更したため削減となった。映画パンフレットは当初の予定にはなかったが配給元より提案があり、上映作品内容への理解を深め、来場者が家庭や地域において学びや気づきを共有できるよう、補助資料として希望者に有償頒布することとした。

映画素材の返送に係る費用については、当初の予算作成時に計上が漏れており、実施段階で発生したものである。今後は、必要経費の確認をより丁寧に行い、再発防止に努める。前年度上映回を元に来場者数を見積もったが、実際は半数に届かなかった。作品の知名度を考慮しなかったことが考えられる。

4 事業成果について（事業計画書の事業の目標に書かれた項目毎に分けて記載）

・目標の達成と課題の解決について

①プレーパークの実施 について

目標：【平日】参加者5人/回、【休日】参加者20人/回

結果：【平日】参加者平均9人、【休日】参加者平均14人

5/25(日)：22人（大人9人、子ども13人）

6/29(日)：12人（大人5人、子ども7人）

9/14(日)：8人（大人4人、子ども4人）

※10/22(水)雨天中止

※2/25(水)雨天延期

3/9(月)：9人（大人4人、子ども5人）

目標としていた参加人数は【平日5人/回】【休日20人/回】であったが、結果として休日平均14人となり、一定の参加は得られたものの、目標には届かなかった。

一方で、「家にいたが、近所でやっていると聞いて来てみた」という声もあり、身近な地域の遊び場としてのニーズがあることが確認できた。本事業を通じて、子どもが主体的に外遊びできる場を提供することにより、家庭や学校以外の第三の居場所として機能し始めていることが成果である。また、参加費を徴収しない形へ変更したことで、体験格差に配慮した開かれた場づくりが実現できた。

一方で、雨天による中止や人員確保の難しさにより開催回数が減少し、安定した開催体制の構築が課題として残った。

②農業体験イベントの実施 について

目標：農業体験イベント4回開催 結果：5回開催

4/20(日)①枝葉集め：参加者 22 人（大人 10 人、子ども 12 人）

6/1(日)②畝作り：参加者 28 人（大人 12 人、子ども 16 人）

9/14(日)③植付け：参加者 13 人（大人 7 人、子ども 6 人）

11/23(日)④収穫：参加者 15 人（大人 8 人、子ども 7 人）

12/2(火)⑤収穫：参加者 4 人（大人 2 人、子ども 2 人）

目標の4回開催に対し5回実施することができ、事業量としては目標を上回る成果を得た。延べ参加者は多く、特に枝葉集めや畝作りの回では20人以上が参加し、関心の高さが確認できた。矢切地域の特色である農地環境を活かし、土・虫・植物に触れる体験や自由な遊びを通じて、子どもたちの感性や主体性を引き出す機会を提供できたことは大きな成果である。また、収穫までの過程を継続して体験することで、参加者のリピート参加も生まれ、関係性の継続が見られた。さらに、イベント参加者へは、草取りや野菜の経過観察等、イベント日以外も自由に畑に来てほしいと呼びかけたことで、家庭や学校以外の居場所としての可能性が広がった。

一方で、矢切地域住民の参加が少ない点や、日程が日曜日中心となり参加しづらい層があった。また、暑さ対策など運営面の課題が残った。

③映画上映会の実施 について

目標：来場者数 60 人 結果：51 人（有料者【大人】25 人、無料者【子ども】26 人）

来場者数は目標 60 人に対し 51 人であり、目標にはやや届かなかったものの、子育て世代や支援関係者など関心の高い層の参加が得られ、「こんな居場所を作りたい」や「見聞が深まった」といった感想をいただいた。上映後には来場者同士の交流が自然に生まれ、子どもや子育てに関する理解や関心を深めるきっかけづくりとして一定の成果があった。また、作品を通して共通の話題を持つことで、地域内のつながりづくりにも寄与した。一方で、もともと関心のある層には届いたが、子どもや子育てと接点の少ない多世代層への周知・参加促進には至らず、今後の課題として残った。

5 今後の事業展開

本事業を通じて、矢切地域において子どもが自由に過ごせる場や、子どもを中心とした地域のつながりづくりに対するニーズが確認できた。一方で、周知不足、人員確保、天候による影響などの課題も明らかになった。

最終目標である矢切地域の遊び場・居場所基地の常設に向け、プレーパーク（冒険遊び場）の存在と本事業の認知を広げる事が最重要事項とし、今後は以下の方向で事業を展開していく。

（1）プレーパークの継続と安定運営

不定期開催から定期開催へ移行し、参加しやすい環境を整える。また、ボランティアや会員、協力者を増やし運営体制を強化する。

（2）農体験の場の拡充と日常的な居場所化

イベント型に加え、平日も利用できるオープン日を増やし、継続的に関われる場へ発展させる。作業に遊びの要素を取り入れながら、多様な関わり方ができる場として整備する。

（3）多世代への周知・参加促進

SNS（Instagram・Facebook）の連携、LINE 公式アカウントの活用、地域新聞や広報紙、自治会掲示板など、紙媒体の活用により情報発信を強化する。また、地域団体・他イベントとの連携を進め、多世代が関われる機会を増やす。

（4）上映会の展開とテーマの拡充

子育て世代以外にも関心を持ってもらえるテーマ設定や、無料招待などの工夫により参加層を広げる。作品によっては複数回開催や多会場での実施も検討する。

収支決算書

【収 入】 (単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 6,000	¥ 18,760	¥▲12,760	事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント参加料	¥ 81,000	¥ 39,200	¥ 41,800	・ 農業体験…100円×51人+300円×17人（※収穫回のみ100円→300円へ値上）10,200円 ・ 映画上映会…25,000円（入場料1,000円×25人）+4,000円（パンフレット有償配布800円×5冊）29,000円
	協賛金	¥ 0	¥ 10,000	¥▲10,000	10,000円×1団体
	寄付金	¥ 0	¥ 500	¥ ▲500	500円×1名
	自己資金の合計（A）	¥ 87,000	¥ 68,460	¥ 18,540	
市	市民活動助成金（B）	¥100,000	¥100,000	¥ 0	←精算額
合計額（C）＝（A＋B）		¥187,000	¥168,460	¥ 18,540	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 60,000	¥ 51,540	¥ 8,460	映画使用料50,000円＋会議室使用料（サポートセンター会議室220円×7時間）1,540円
	印刷製本費	¥ 11,000	¥ 2,195	¥ 8,805	団体チラシ増刷分100部プリントパック 2,015円 コピー費 100円+80円
	消耗品費	¥ 68,500	¥ 26,193	¥ 42,307	・ プレーパーク遊び道具（絵具8,998円、ロール紙2,400円、他）13,314円 ・ 農業体験（種825円、苗990円、防鳥網548円、他）9,679円 ・ 映画パンフレット販売原価（640円×5冊） 3,200円
	報償費	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ 0	外部講師謝礼（畑監修） 30,000円/年
	通信運搬費	¥ 0	¥ 1,430	¥ ▲1,430	映画素材返送代（ヤマト運輸）
	対象経費の合計（D）	¥169,500	¥111,358	¥ 58,142	
（その他経費）	食糧費	¥ 17,500	¥ 0	¥ 17,500	
	講師交通費	¥ 0	¥ 7,000	¥ ▲7,000	高速代往復5,000円＋ガソリン代（松戸⇄埼玉県小川町）2,000円
	振込手数料	¥ 0	¥ 550	¥ ▲550	映画使用料振込手数料（千葉銀行）
	印刷製本費	¥ 0	¥ 8,989	¥ ▲8,989	・ 上映会チラシ印刷（1,100部4150円＋増刷400部3,050円）プリントパック 7,200円 ・ 団体チラシ印刷100部プリントパック 1,789円
	消耗品費	¥ 0	¥ 38,613	¥▲38,613	・ タープテント購入代 17,282円 ・ プレーパーク遊び道具（絵具1,758円、ブルーシート2,981円、他）8,790円 ・ 農業体験（種・肥料代1,791円、黒マルチ等資材10,750円、他）12,541円
	広告宣伝費	¥ 0	¥ 1,950	¥ ▲1,950	映画上映会告知Instagram広告
	その他経費の合計額（E）	¥ 17,500	¥ 57,102	¥▲39,602	
合計額（F）＝（D＋E）		¥187,000	¥168,460	¥ 18,540	

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が、対象となる経費（D）欄の90%以内であること。
- 2 自己資金（A）欄が、「対象経費（D）欄の10%以上」であること。
- 3 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 18,760	事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント参加料	¥ 39,200	・ 農業体験…100円×51人+300円×17人（※収穫回のみ100円→300円へ値上）10,200円
	協賛金	¥ 10,000	当団体への協賛金 10,000円×1団体
	寄付金	¥ 500	当団体への寄附金 500円×1人
	自己資金の合計額	¥ 68,460	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合 計 額		¥ 168,460	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 51,540	映画使用料50,000円+会議室使用料（サポートセンター会議室220円×7時間）1,540円
	印刷製本費	¥ 2,195	団体チラシ増刷分100部プリントバック 2,015円 コピー費 100円+80円
	消耗品費	¥ 26,193	・ プレーパーク遊び道具（絵具8,998円、ロール紙2,400円、他）13,314円 ・ 農業体験（種825円、苗990円、防鳥網548円、他）9,679円 ・ 映画パンフレット販売原価（640円×5冊） 3,200円
	報償費	¥ 30,000	講師謝礼（畑監修）30,000円×1回
	通信運搬費	¥ 1,430	映画素材返送代（ヤマト運輸）ゴウドウガイシャノンデライコ
	対象経費の合計	¥ 111,358	
その他経費	講師交通費	¥ 7,000	高速代往復5,000円+ガソリン代（松戸市⇄埼玉県小川町）2,000円
	振込手数料	¥ 550	映画使用料振込手数料（千葉銀行⇒三井住友UFJ銀行）×1回
	印刷製本費	¥ 8,989	・ 上映会チラシ印刷（1,100部4150円+増刷400部3,050円）プリントバック 7,200円 ・ 団体チラシ印刷100部プリントバック 1,789円
	消耗品費	¥ 38,613	・ タープテント購入代 17,282円 ・ プレーパーク遊び道具（絵具1,758円、ブルーシート2,981円、他）8,790円 ・ 農業体験（種・肥料代1,791円、黒マルチ等資材10,750円、他）12,541円
	広告宣伝費	¥ 1,950	映画上映会告知Instagram広告
	その他経費の合計	¥ 57,102	
合 計 額		¥ 168,460	

みんなで創る未来の都市農業
コミュニティ農園 事業

まつど市民の会

活動状況報告書

1 事業名称 みんなで創る未来の都市農業 コミュニティ農園事業

2 実施主体

■団 体 名： まつど市民の会

従 事 者 数： 2 名

団 体 概 要： 松戸市が推進する協働のまちづくりの趣旨に賛同し、協働の手法、方法を検討し、実践することで、市民活動を活性化し、『松戸で良かった』という人を増やし地域の活性化に寄与することを目的とする。

3 事業の実施内容（事業計画書の事業内容に書かれた事業毎に分けて記載）

(1) 事業内容

①土づくり、苗づくり、植え付け、管理

日 付	作 業 内 容
4 月 4 日	ほうれん草のタネ蒔き（主水新田地区） レタス、ブロッコリーの苗植え付け（紙敷地区）
4 月 6 日 ～3 月 20 日	畑の土づくり、草刈、整備、管理（七右衛門地区） 4/6、20、27、5/1、24、6/12、22、27、30、7/1、6、12、17、21 8/3、8、9/4、9、10、11、10/8、9、13、15、16、19、21、27、29、30 11/3、5、10、14、15、25、29、12/7、2/24、3/15、17、18、19、20 計 44 日間 市民参加 6 名
4 月 8 日	里芋の植え付け（紙敷地区）
4 月 15 日 ～3 月 22 日	畑の土づくり、草刈、整備、管理（主水新田地区） 4/14、21、22、25、6/23、7/6、12、14、22、23、8/7、9、19、21、28 9/15、16、10/2、27、29、30、11/11、19、2/24、3/17、18、19、22 計 28 日間 市民参加 6 名
4 月 11 日～ 11 月 15 日	畑の土づくり、草刈、整備、管理（紙敷地区） 4/11、14、5/4、27、7/25、 8/17、18、29、9/28、11/13、15 計 11 日間 市民参加 6 名
4 月 15 日 5 月 11 日	スナップエンドウの管理（主水新田地区）
4 月 13 日～ 12 月 7 日	ヌカの引き取り（米ぬか酵素浴 Asa 東京ベイ 千葉県浦安市より） 4/13、6/8、7/1、8/3、9/7、12/7 計 6 日間 市民参加 3 名
5 月 15 日～	おが粉の引き取り（酵素風呂 ゆずり葉 ; 千葉松戸市松飛台より）

12月28日	5/15、16、6/24、10/3、30、11/5、12/28 計7日間 市民参加3名
6月25日 6月26日	サツマイモの苗植え付け（七右衛門新田地区、主水新田地区）
7月2日～	ジャガイモの管理（主水新田地区） 7/5、7/6 計3日間 市民参加2名
9月3日	大根の種まき（主水新田地区）
9月9日 9月10日	大根の種まき（七右衛門新田地区）
9月11日	人参種まき（七右衛門新田地区）
9月11日	人参種まき（門水新田地区）
11月5日	ニンニクの植え付け（七右衛門新田地区）
11月5日	サツマイモの管理（紙敷地区） 市民参加1名
12月2日	ネギの移植（七右衛門新田地区）
2月27日	ジャガイモのタネ植え付け（主水新田新田地区）
3月19日	ジャガイモのタネ植え付け（主水新田新田地区）
3月24日	ジャガイモのタネ植え付け（七右衛門新田地区）
	4月以前に植えたジャガイモの管理（七右衛門新田地区）
	プランターでの自然農法は行わずに、七右衛門新田の畑にて行った

②収穫体験

日 付	作 業 内 容
6月29日	ジャガイモ収穫体験（主水新田新田地区）（大人5名、子5名）5組
11月7日	サツマイモ収穫体験（七右衛門新田地区）（大人11名、子16名）11組
11月23日	サツマイモ収穫体験（主水新田地区新田）（大人4名、子8名）4組
11月24日	サツマイモ収穫体験（七右衛門地区新田）（大人3名、子4名）3組
11月28日	サツマイモ収穫体験（保育園児向け）（七右衛門地区新田）（大人2名、子9名）
3月6日	大根掘り（保育園児向け）（七右衛門新田地区）（大人2名、子9名）

③情報発信

日 付	作 業 内 容
8 月 29 日 9 月 9 日	SNS 等の発信 ① Facebook 8 月 29 日に 1 回 ② X での発信 9 月 9 日に 1 回 https://x.com/Matsudo_Citizen その他 広報、チラシ、地域情報誌、関係団体への発信できなかった。

④上映会「いただきますみそをつくるこどもたち」

日 付	作 業 内 容
8 月 12 日	DVD 手配
8 月 29 日～9 月 21 日	X および Facebook での発信。
9 月 21 日	上映会（開場準備、上映） 参加者計 13 人 （新松戸市民センターホール） 午前の部 参加者大人 3 名 計 3 名 午後の部 参加者大人 7 名子供 3 名 計 10 名

⑤料理教室

日 付	作 業 内 容
	実施できなかった

⑥講座

日 付	作 業 内 容
	実施できなかった

⑦次年度生産計画書の作成

日 付	作 業 内 容
1 月 21 日	次年度の事業の計画の打ち合わせ

⑧活動報告

日 付	作 業 内 容
3 月 28 日	一年間の振り返りと今後の予定についての報告 活動場所：市内の会員宅 参加人数：3 名

(2) 事業内容のふりかえり

① 土づくり、苗づくり、植え付け、管理

本事業における土づくり、苗づくり、植え付けおよび管理については、メンバーの確保が十分にできなかったことから、当初計画していた実施回数には至らず、活動量としても不十分な結果となった。市民の参加人数は6名関わった。

また、事業に関わる団体人員の確保が想定以上に難しく、特に継続的に畑作業に関わる人材の確保に課題があることを実感した。

② 収穫体験

本事業における収穫体験については、これまでに収穫体験に参加したことのある小学生に加え、家庭学級の活動に関わる方々や、保育園と関係のあるメンバーの協力により実施することができた。

③ 情報発信

本事業における情報発信については、専門的に対応できるスタッフの必要性を認識する結果となった。また、SNSによる発信に対する反応が想定以上に少なく、情報の到達や関心喚起の難しさを実感した。

SNS 以外の発信においては、担当できる人員の確保ができなかったため実施できなかった。

④ 上映会

本事業における上映会については、参加人数は多くはなかったものの、参加者からは「本内容をより多くの方に知ってもらいたい」といった前向きな感想が寄せられた。

⑤ 料理教室

本事業における料理教室については、およびカレーづくりの実施を予定していたが、準備不足により実施には至らなかった。

⑥ 講座（年2回）

本事業における講座の実施については、事業の進捗が十分でなかったことに加え、参加者の確保ができなかったことから、募集に関する準備ができず、実施には至らなかった。

⑦ 次年度生産計画書の作成

本事業において、次年度の生産計画書を作成した。計画書には、今年度を実施した収穫体験の内容や得られた知見を反映させている。

また、年度末の3月以降、本事業に関心を持ち関わる参加者が増加しており、今後の活動

基盤が整いつつある状況である。

⑧活動報告

活動報告は、年間の実施状況の報告と次年度の活動計画（栽培計画）を行った。

本事業の振り返りとして、年間を通して団体人員の確保が十分にできず、採択年度内での活動はほとんど実施することができなかった。しかしながら、年度末（3月末時点）には本事業に興味を持つ約40名の参加希望者が集まり、今後の継続的な活動実施に向けた基盤が整いつつある。

当初は、情報発信を行えば比較的容易にメンバーが集まると想定していたが、実際には想定以上に困難であり、計画と現実との間に大きな乖離があったことが課題として挙げられる。特に、メンバー確保の体制や方法に改善の余地があった。

一方で、3月に入り情報発信を担当する新たなメンバーが加わったことにより、活動の認知が急速に広がり、参加希望者の増加につながった点は大きな成果である。

また、食糧費や印刷製本費についても、メンバー数の不足により少人数での負担が増大し、当初予定していた活動の実施が困難となった。

さらに、「食」は社会において不可欠な要素であるにもかかわらず、現行の社会構造の中では十分に支えられていない側面があることを認識し、将来に対する課題意識を強く持つに至った。加えて、食を含む社会インフラとして、「心・体・食・教育」といった分野について、市民・行政・企業が連携して取り組む必要性を実感した。

4 事業成果について（事業計画書の事業の目標に書かれた項目毎に分けて記載）

・目標の達成と課題の解決について

4 事業成果については、事業の目標ごとに記入してください。

○農園事業に参加する家族を年間10家族とする目標

年度末（3月末）時点において、本事業に興味を持った参加希望者は40名に達し、そのうち実際に畑の見学や作業に参加した者は20名であった。家族単位では6家族で目標は達成しなかったが、親や友人同士の参加もあり、関心層の形成につながった。

○収穫体験に年間25組の参加を目標とする

収穫体験については、参加家族数は23組となっている。現時点においても一定の参加ニーズが確認されている。

○上映会参加人数を50人とする目標

上映会については、目標人数には達しなかったが、広報方法の工夫や周知の強化により、参加者数の増加が可能であると考えられる。一方で、本事業については、市民活動としての

実施には限界があり、専門的な運営体制を有する事業として取り組む必要性を感じている。

○講座受講者を年2回で40人とする目標

講座の実施に向けては、ボランティアベースでの運営では継続的な実施が難しく、事業として成立させるためには、一定の収益性を確保した運営が必要であると認識した。採算性を踏まえた事業設計が今後の課題である。

○料理教室への参加を年2回で10組とする目標

料理教室については、当年度は実施に至らなかった。本内容についても、継続的な実施のためには市民活動を行う。

本事業では、地域住民が農業に関わる機会を創出し、地域コミュニティの形成につなげることを目標としていましたが、実働体制の不足や農作業の負担の大きさなどにより、計画していた内容の多くを達成することはできませんでした。特に人手不足は大きな課題であり、農業分野全体でも担い手不足が指摘されている中、本事業でも同様の課題を強く認識する結果となりました。また、農地の借用や管理に関する費用面の課題もあり、持続可能な事業とするためには運営体制や事業規模の見直しが必要と考えています。

今後は今回得られた経験を踏まえ、体制づくりや活動内容の改善を検討していきます。

5 今後の事業展開

本事業を通じて、地域住民が農業体験に関心を持っていることが確認できた一方で、継続的な事業運営には人材確保や作業負担の軽減などの課題があることが明らかになりました。今後は無理のない規模から活動を再構築し、収穫体験など参加しやすいイベント型の取り組みを中心に継続することで、農業に関心を持つ地域住民や協力者を増やしていきたいと考えています。また、地域農家との連携を継続するとともに、農業理解の促進や地域交流の観点から、行政や関係団体との情報共有や連携の可能性も検討していきます。

将来的には、市民・農家・行政が連携する持続可能な地域農業活動の形を模索していきます。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	イベント（講座・収穫体験）参加費	¥ 34,700	¥ 13,700	¥ 21,000	収穫体験（500円×5組＝2,500円） 収穫体験（700円×11組＝7,700円） 収穫体験（500円×4組＝2,000円） 収穫体験（500円×3組＝1,500円）
	上映会参加費	¥ 25,000	¥ 9,000	¥ 16,000	映画「いただきますみそをつくるこどもたち」 （1,000円×9人）
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計（A）	¥ 59,700	¥ 22,700	¥ 37,000	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	¥ 17,333	¥ 82,667	←精算額
合計額（C）＝（A＋B）		¥ 159,700	¥ 40,033	¥ 119,667	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 104,000	¥ 9,593	¥ 94,407	・タネ（大根）492円×2個＝984円 ・タネ（ジャガイモ）2,068円×2セット＝4,136円 ・タネ（パジル、ナス、パクチー、ルッコラ、イタリアンパセリ、唐辛子、きゅうり、オクラ）＝1,877円 ・培土×2＝2,596円
	使用料及び賃借料	¥ 37,200	¥ 30,440	¥ 6,760	・映画使用料 映画「いただきますみそをつくるこどもたち」30,000円 ・馬橋東市民センター（会議室2時間）440円
	食糧費	¥ 13,500	¥ 0	¥ 13,500	
	印刷製本費	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計（D）	¥ 159,700	¥ 40,033	¥ 119,667	
（その他）経費	食糧費	¥ 13,500	¥ 0	¥ 13,500	
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額（E）	¥ 13,500	¥ 0	¥ 13,500	
合計額（F）＝（D＋E）		¥ 173,200	¥ 40,033	¥ 133,167	

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が、対象となる経費（D）欄の90%以内であること。
- 2 自己資金（A）欄が、「対象経費（D）欄の10%以上」であること。
- 3 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 82,667
-----	----------

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	イベント参加費	¥ 13,700	収穫体験 (500円×5組=2,500円) 収穫体験 (700円×11組=7,700円) 収穫体験 (500円×4組=2,000円) 収穫体験 (500円×3組=1,500円)
	上映会参加費	¥ 9,000	映画「いただきますみそをつくるこどもたち」 (1,000円×9人)
	自己資金の合計額	¥ 22,700	
市	市民活動助成金	¥ 17,333	
合 計 額		¥ 40,033	

【支 出】

科 目		金 額	内訳・説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 9,593	・タネ (大根) 492円×2個=984円 ・タネ (ジャガイモ) 2,068円×2セット=4,136円 ・タネ (バジル、ナス、パクチー、ルッコラ、イタリアンパセリ、唐辛子、きゅうり、オクラ) =1,877円 ・培土×2=2,596円
	使用料及び賃借料	¥ 30,440	・映画使用料 映画「いただきますみそをつくるこどもたち」30,000円 ・馬橋東市民センター (会議室2時間) 440円
	食糧費	¥ 0	
	印刷製本費	¥ 0	
	対象経費の合計	¥ 40,033	
その他経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
合 計 額		¥ 40,033	

松戸の歴史的文化遺産の復元・活用研究事業

松戸の地理・歴史探訪調査会

活動状況報告書

1 事業名称 松戸の歴史的文化遺産の復元・活用研究事業

2 実施主体

■団体名： 松戸の地理・歴史探訪調査会

従事者数： 7名

団体概要： 近世・近代を通じて松戸の発展に寄与してきた歴史的遺産を再考し、土地開発で変貌した現在の姿を歴史的および空間的に調査・研究し、新たな文化的価値を構築、復元を目指し、市政や市民への啓蒙活動と次世代へつなぐ取り組みを行っている。

3 事業の実施内容

(1) 事業内容

①事業にあたっての現状認識、問題提起

日 付	作 業 内 容
4月3日、7月2日	利根川の旧布佐河岸付近調査・・・河岸跡地・観音堂・河川地形
5月～9月	旧鮮魚街道（布佐～日本橋）歩いて調査（5回に分けて踏査）
5月10日	旧鮮魚街道（含む子和清水）の元々の道筋調査
5月13日	手賀沼付近の古文書・・・柏市教育委員会訪問
6月11日	我孫子市布佐地区史料・・・我孫子市教育委員会訪問
随時 5回以上	その他、関係者聞き取り調査
7月23日	松戸市役所 教育委員会文化財保存活用課訪問
9月17日	白井市地区の古地図と旧家情報収集・・・白井市郷土博物館訪問
10月2日	柏市地区（藤ヶ谷の常夜燈）・・・鎌ヶ谷市郷土資料館訪問
随時 10回以上	近隣各図書館（我孫子・印西・鎌ヶ谷・柏等）文献資料収集
12月12日	我孫子市布佐地区の史蹟調査・・・我孫子市史研究会参加

②事業立案

日 付	作 業 内 容
4月2日	事業計画と現地確認方針打ち合わせ
随時 10回以上	事業進捗、計画打ち合わせ
4月30日	鮮魚街道の関係旧家訪問
随時 10回以上	資料収集・・・松戸市立図書館、同博物館・千葉県立西部図書館
R8年2月5日	鮮魚街道関連旧家から情報収集

③事業の市民への享受

日 付	作 業 内 容
10 月 11 日	鮮魚街道（五香～八柱） 本来の道筋を解説・・・金ケ作陣屋研究会
10 月 11 日	子和清水～八柱間の地形変貌を説明・・・金ケ作陣屋研究会
10 月 26 日	鮮魚街道（含む子和清水）の正道筋説明・・・金ケ作陣屋研究会
11 月 28 日	子和清水（含む鮮魚街道）の調査報告・・・松戸市立博物館
12 月 2 日	子和清水周辺案内・・・調査活動報告実施（五香～谷津～八柱）案内を市民対象に開催
R8 年 1 月 13 日	松戸市内散策案内グループ（松戸シティガイド）への情報提供
R8 年 2 月 6 日	市内情報発信先への情報提供・・・松戸観光協会

(2)事業内容のふりかえり

①事業にあたっての現状認識、問題提起

我々の団体の主な事業としては、鮮魚街道とその街道筋にあった子和清水を再考し、歴史的文化財資源として価値を見出して復元して行きたいという思いで取り組んできた。なお、これまで活動で、松戸市の担当、関連機関への問い合わせ、情報収集を行ってきたが、目的の情報や資料が得られず、松戸市内および周辺自治体の関連（博物館、資料館、教育委員会、研究者等）での聞き取りは、会員ごとに IC レコーダーを利用し情報収集に役立てた。多岐にわたり聞き取りにくさや翻訳整理が難しい面もあり、今後は聞き取り方法、場所（室内・野外）のあり方の工夫が必要である。

②事業立案

地元からの情報収集に限界を感じつつ独自の方法（他市町からの情報や地元住民への聞き取りなど）を強化し、調査を通じて、これまで解明できていなかった旧街道筋部分の概要が解明されつつある。しかしまだ完成には至っていないため、さらなる研究調査が必要である。

③事業の市民への享受

これまで明らかにした旧街道筋（鮮魚街道）と子和清水の研究については、金ケ作陣屋研究会や松戸市立博物館等への説明や現地案内（巡検）等を通じて市民へ周知してきた。

なお、事業を進めるにあたって活動の主要な部分である調査研究、活動経費（交通費関係、資料収集のための費用）負担が多くなり、また、さらなる調査研究、資料収集の必要性があり、次年度以降の課題として残った。

4 事業成果について（事業計画書の事業の目標に書かれた項目毎に分けて記載）

・目標の達成と課題の解決について

(1) 既存の地形図や旧版の地形図を利用し過去と現代の重ね合わせの地図作製

既存の地形図や旧版の地形図を利用し過去と現代の重ね合わせの地図作製作業をすすめてきた。松戸市立博物館への説明や市民への周知も行ってきたが、まだ情報（地図資料の入手）不足にある。

(2) 地形・水系から想像する子和清水と旧鮮魚街道の実態と景観図作成

子和清水の水系等は旧版の地図等から解明に近づいたが、子和清水そのものの過去の実態が松戸市の担当課からの情報を得られなかったため正確な解明ができず、目標の昔の景観の

再現は現段階で作成が出来ていない。

(3) 子和清水のスケッチ画像作成

同様に過去の実態が松戸市の担当課からの情報を得られず、正確な解明ができなかった。文献資料や聞き取り調査等から想像してAIによる画像作成を試みたが、現状AIの学習機能では成果が得られず、地元の作家に委託してイラスト画を作成した。

(4) 調査研究成果の報告

鮮魚街道、子和清水の過去の歴史的復元調査研究を目的に活動を行ってきた。過去の地図情報や聞き取り調査等により旧道のルートが大分わかってきたが、究明資料収集が不足し、今後の課題とする。

(5) 完成した際には100部ほどを印刷し、関係者に配布する。

これまでの事業は想定していた目標まで至っておらず、印刷・配布は関係者への配布に留めることとし、次年度へ向けて発展させ、成果品の印刷を行うこととする。

(6) 研究説明会および現地巡検を市民参加型で開催する。

これまでの研究調査の周知活動については、集会や現地案内（巡検）を通じて地元団体や市民への呼びかけを行いながら、活動を行ってきた。より多くの市民への周知は今後の課題として今後も活動を続けて目標達成に近づけたい。

5 今後の事業展開

「子和清水」、「鮮魚街道」のさらなる実態調査により変貌前の未解明部分の調査を継続する。具体的には「子和清水」、「鮮魚街道」について、台地の地形や谷津（谷戸）の水環境を考慮しながら、開発による変貌前と今の姿を面的かつ立体的に捉えての図化、地図への表現により、松戸市の文化財的資産を体感する場として復元を目指す研究作業を進めて行く。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 278,000	¥ 208,523	¥ 69,477	
	巡検参加費	¥ 0	¥ 2,400	¥ 2,400	300円×8人
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計（A）	¥ 278,000	¥ 210,923	¥ 71,877	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	¥ 73,731	¥ 26,269	←精算額
合計額（C）＝（A＋B）		¥ 378,000	¥ 284,654	¥ 93,346	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品	¥ 51,500	¥ 56,297	¥ ▲4,797	プリンタインク 12,566円、プリンタ 8,400円、ICレコーダー 5,700円・9,800円、印刷コピー用紙 7,501円、図書費 12,330円
	印刷製本費	¥ 20,500	¥ 3,487	¥ 17,013	松戸市立図書館東松戸地域館 図書複写 680円、トーエイ 地図・地形図複写 607円、作成資料・地図等配布用印刷代 1,100円×2
	使用料及び賃借料	¥ 21,000	¥ 2,140	¥ 18,860	会議会場使用料（常盤平市民センター 880円×1、660円×1、コミュニティカフェChoshiYa 600円×1）
	食糧費	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	
	委託料	¥ 100,000	¥ 20,000	¥ 80,000	イラスト画像制作費 ×1 20,000円
	報償費	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	
	保険料	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	
	対象経費の合計（D）	¥ 238,000	¥ 81,924	¥ 156,076	
（その他）経費	PC購入	¥ 50,000	¥ 48,000	¥ 2,000	
	PCグラフィックソフト	¥ 40,000	¥ 0	¥ 40,000	
	調査用計器	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	
	事務用品等	¥ 30,000	¥ 3,930	¥ 26,070	ノート 200円×5、フィールドノート 300円×5、ファイル 550×2、クリアファイル 330円
	交通費	¥ 0	¥ 25,500	¥ ▲25,500	電車バス等運賃 1,700円×5日×3人
	車（ガソリン）代	¥ 0	¥ 75,000	¥ ▲75,000	1日5,000円×15日
	飲食費	¥ 0	¥ 47,000	¥ ▲47,000	会合、打ち合わせ、懇親会等
	使用料及び賃借料	¥ 0	¥ 3,300	¥ ▲3,300	会議会場使用料（常盤平市民センター 660円×5）
	その他経費の合計額（E）	¥ 140,000	¥ 202,730	¥ ▲62,730	
合計額（F）＝（D＋E）		¥ 378,000	¥ 284,654	¥ 93,346	

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が、対象となる経費（D）欄の90%以内であること。
- 2 自己資金（A）欄が、「対象経費（D）欄の10%以上」であること。
- 3 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 26,269
-----	----------

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 208,523	事業費の一部を団体の会計より拠出
	巡検参加費	¥ 2,400	300円×8人
	自己資金の合計額	¥ 210,923	
市	市民活動助成金	¥ 73,731	
合 計 額		¥ 284,654	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	消耗品	¥ 56,297	プリンタインク 12,566円、プリンタ 8,400円、ICレコーダー 5,700円・9,800円、印刷コピー用紙 7,501円、図書費 12,330円
	印刷製本費	¥ 3,487	松戸市立図書館東松戸地域館 図書複写 680円、 トーエイ 地図・地形図複写 607円、作成資料・地図等配布用印刷代 1,100円×2
	使用料及び賃借料	¥ 2,140	会議会場使用料（常盤平市民センター 880円×1、660円×1、コミュニティカフェChoshiYa 600円×1）
	委託料	¥ 20,000	イラスト画像制作費 ×1 20,000円
	対象経費の合計	¥ 81,924	
その他経費	PC購入	¥ 48,000	
	事務用品	¥ 3,930	ノート 200円×5、フィールドノート 300円×5、ファイル 550×2、クリアファイル 330円
	交通費	¥ 25,500	電車バス等運賃 1,700円×5日×3人
	車（ガソリン）代	¥ 75,000	1日5,000円×15日
	飲食費	¥ 47,000	300円×12日×3人 500円×10日×3 3800円×1日×4人 400円×5日×3人 会合、打ち合わせ、懇親会等
	使用料及び賃借料	¥ 3,300	会議会場使用料（常盤平市民センター 660円×5）
	その他経費の合計	¥ 202,730	
合 計 額		¥ 284,654	